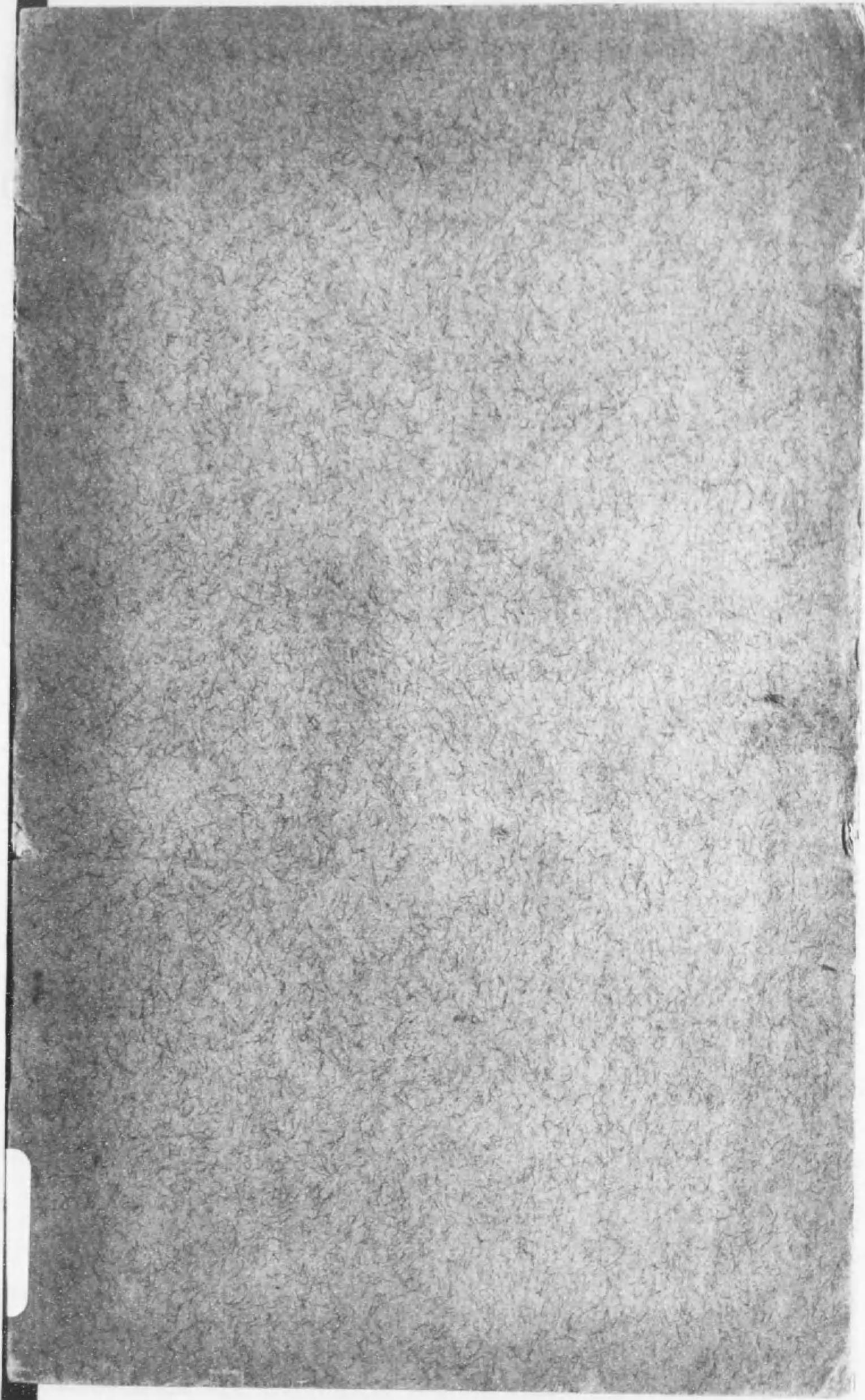


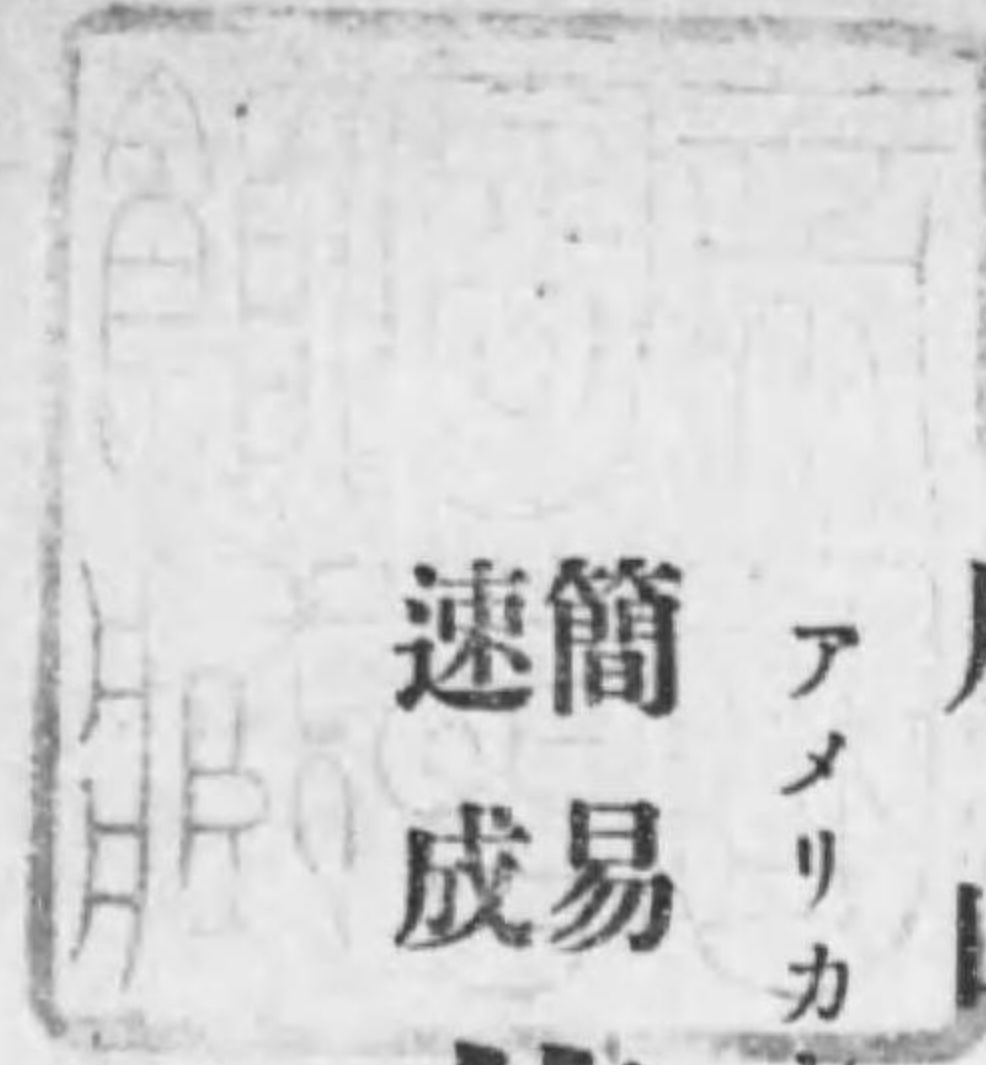


始



1006  
1007

持116  
37



ハリス博士題字

片山博士序文

アメリカン英語學協會編

簡易速成 英語獨習自在

全



東京 三英堂書店發行

METHODIST EPISCOPAL MISSION  
SEOUL, CHOSŬN  
BISHOP N. C. HARRIS

March 14 1913.

To Whom It May Concern:

I have examined the English  
Course for Railway Employees  
in Japan by the American Bible  
Society, Honolulu. I find it  
admirably adapted to the purpose  
and commend the work to the  
employees in the Railways of Japan,  
M. C. Harris.



### マスター オフ アーツ 片山潜 序文

英語の研究は何の研究よりも一番面白い研究である。如何となれば英語は容易い語である。習ふには極習い安い語である。而して實際的語であるから一字知れば一字丈け役に立つ語である。英語程廣く用ゐられて居る語は世界でもない。然り又英語程必要なる語も世界にないと云ふてよからう。

然るに我が邦の學生が何故に英語を學ぶに困難をするか。又英語の必要を知り之を研究せんとする人々が一般に英語は困難なる語であるとして居るのは何故であるか。之には種々なる事柄が存在して居るからであらうが。要するに其習學の方法宜しきを得ないからであらう。英語使に餘り必要のない文法に向つて無暗に力を入れるなども其一である。英語は理窟ではない技術である。僕は日本で英語を教はつた事がないから何故に今の英語研究者が斯の如く苦心するか又之が研究に時間を費すかを知らない。只頗る不思議と思ふのみである。僕は英語は決して困難なる言語ではない極くやさしい言葉であつて誰にでも直きに習へる物であると思ふて居る。始め僕は英語を人から習ふことはなかつた。自分で覺へたのである。僕が米國に行つたのは明治十七年の冬であつた。桑港に上陸した時は殆んど *abc* も知らなかつた。而して懐中に錢はメキシコ弗（我が一圓）が一個あつた。學校へも行くことが出来なければ師匠に就いて學ぶことも出来なかつた。只仕事に行つて働いた。然るに六ヶ月もすると大概の用事は出来るようになった。何うしてなつたかと云へば自分で英語の字引と首引きで勉強した。而して毎日試験を自分でやつたからである。此方法は決して六ヶ敷い事はない誰にでも又何處でも出来る。強ち米國でなくとも日本でも容易に出来るのである。廣告、看板に英語は澤山にあるではないか。

僕が英語の研究法は斯様である。一日朝から晩まで働いて夜間字引と英語の書物。時には新聞（一行でも英語でよへればよい）を読んで見た。一字覺へた者を忘れぬように努力した。仲々覺へられないが其れでも覺へることに勤めた。而して翌日になつて出ると四方に英語の廣告があるから其を読んで見る仲々

一度や二度は意味は覺へられないが、字は覺へて居ると云ふ風で何でも英語でさへあれば覺へることに努めた。斯くして漸々覺へて来たので所謂僕の英語は教はつたのではないピツクドアップ (拾ひ上げ) たのである。由來英語は獨學で覺へるように出て居る語である。教はつて覺へるよりも自ら學んで然り研究して覺へるに便利な語である。僕は文法も知らなければ發音も知らなかつた。只書物に就いて學んで自ら使用して自得したのである。一體英語は梯子段の段を昇るようになつて一つ覺へれば段々進む語である。要は書物に就いて自分が苦心して解得するのが一番の近路である。獨逸語は四五百の字を覺ゆれば日用の事に支障へない英語も七八百字も覺ゆれば日用の事柄を達するに差支へはない。英國の田舎の百姓などは四五百の字を使用するのみである。英國の大學卒業生でなければ二三千の英字を使用する者はないとの事である。僕は我が英語研究者は始めから澤山の字を教はらんとして苦悶慘憺終に失敗に終るのであると思ふ。精々八九百乃至一千字も普通使用する字を覺へて之を縦横自在に使用するようになれば大概なる新聞雑誌は固より普通の書物を読むには差支へないと確信して居る。而して之を爲すには學校へ行く必要もなければ師匠に就く厄介も容れない字引と一冊の英語研究の本があれば足れりである。世人は支那語を學ぶように澤山の書物を読み澤山の文字文章を解するを以つて英語が學べると思ふて居るが之は大なる間違ひである。數學を習ふて加減乗除がよく腹へ入つて居れば如何なる數理も解することが出来る如く英語も其いろはと發音とを覺へて其道の書物に就かば字引一冊で如何なる書物でも讀めるようになり又話せるようになる。僕は獨學で英語を覺へたから茲に保證する。學校へ行つてからは英語に依つて種々の事實と理由を學んだが、單に英語は仕事の相聞に字引と首引きで覺へたのである。友人五味君が此書を示して序を求められたから僕は斯の書の如きは英語研究者には頗る便利な者であると思ふから僕、英語研究法を記して此書を読む人々の注意を促さんとした譯である。

三崎原頭にて。 深 甫

## 第 一 編 文 字

アルファベット  
文字 (The Alphabet.)

字數……英語には日本語のイロハといふた様な字が26文字あつて三種の書體がある。

### 書體

ローマン

(1)羅馬體 (Roman)……是れは多く印刷等に用ふ。

スクリプト

(2)筆記體 (Script)……日常吾人が筆記に用ふ字。

イタリック

(2)伊太利體 (Italic)……印刷用、特別注意をヒク爲めに

以上の三體には何れも大字 (Capital Letter) と小字 (Small Letter) との二通がおります

(注意) 大字、小字の用法の相違は後に述べます。

讀方……書體は斯く幾通りもありますが字數は原來26文字限りですから讀方も26だけです。

今、字數と、書體と、讀方とを一目で解る様に次頁に表にして示します。讀者は先づ第一に字と其讀方とを覺ねなければなりません。

(注意) 伊太利體は普通多く用ひませんから略す。又讀方を覺えるには初め羅馬體小字を見て之を習ひ其後で筆記體に書いて覺わの方がよいです。

羅馬字	讀方	筆記體
大字	小字	大字 小字
A	a	エー A a
B	b	ビー B b
C	c	スイー C c
D	d	ディー D d
E	e	イー E e
F	f	エフ F f
G	g	ジー G g
H	h	エイツ H h
I	i	アイ I i
J	j	ジェー J j

K	k	ケー K k
L	l	エル L l
M	m	エム M m
N	n	エヌ N n
O	o	オー O o
P	p	ピー P p
Q	q	キュー Q q
R	r	アール R r
S	s	エス S s
T	t	タイ T t
U	u	ユー U u

V	v	グイ	<i>V</i>	v
W	w	ダブリュー	<i>W</i>	w
X	x	エックス	<i>X</i>	x
Y	y	ワイ	<i>Y</i>	y
Z	z	ゼット	<i>Z</i>	z

練習

1. 次の文字を讀め

e o u i a  
w b p j l z k h  
r x g y n v m g  
s d c f t

2. 次の文字を筆記體にて書け

g p f w a i u  
o l z k h r  
x g m y n s d j  
c b t l n w

第貳編  
羅馬字綴方

普通日本語の人名、地名、等を英字で書くには所謂羅馬字の綴方に依るのです。特に鐵道では各驛名などを、昔羅馬字で書いて在りますから、どうしても之を知らなければなりません。是を覺るには先づアイウエオ(e, i, u, e, o,)を覺えてソレから他の音は、是と外の字とを組み合せて見れば直ぐ解ります

(1) 五十音表

A ア	I イ	U ウ	E エ	O オ
K...KA カ	KI キ	KU ク	KE ケ	KO コ
S...SA サ	SHI シ	SU ス	SE セ	SO ソ
T...TA タ	CHI チ	TSU ツ	TE テ	TO ト
N...NA ナ	NI ニ	NU ヌ	NE ネ	NO ノ
H...HA ハ	HI ヒ	FU フ	HE ヘ	HO ホ
M...MA マ	MI ミ	MU ム	ME メ	MO モ
Y...YA ヤ	I イ	YU ユ	YE エ	YO ヨ
R...RA ラ	RI リ	RU ル	RE レ	RO ロ
W...WA ワ	(W)I ヰ	U ウ	YE(WE) エ	WO ヲ

注意

( )内の

は普通用

ひません

(2) 半濁音

P...PA バ	PI ビ	PU ブ	PE ベ	PO ボ
----------	------	------	------	------



## (2) 濁音

G... GA ガ	GI ギ	GU グ	GE ゲ	GO ゴ
Z... ZA ザ	JI ジ	ZU ズ	ZE ゼ	ZO ゾ
D... DA ダ	DSI チ	DZU ヅ	DE デ	DO ド
B... BA バ	BI ビ	BU ブ	BE ベ	BO ボ

## (4) 二重音

今上に述べたのは誠に簡単で覺われますが二重音は少し複雑な丈に覺わにくい。併し僅かですから暗記しなければいけません。

KYA キヤ	KYU キユ	KYO キヨ	KWA クワ
SHA シヤ	SHU シユ	SHO シヨ	
CHA チャ	CHU チユ	CHO チヨ	GWA グワ
NYA ニヤ	NYU ニユ	NYO ニヨ	
HYA ヒヤ	HYU ヒユ	HYO ヒヨ	
MYA ミヤ	MYU ミユ	MYO ミヨ	TSA ツァ
RYA リヤ	RYU リユ	RYO リヨ	

## 例

品川 Shinagawa	東京 Tokyo
横浜 Yokohama	京都 Kyoto
横須賀 Yokosuka	大坂 Osaka
静岡 Shizuoka	仙臺 Sendai
神戸 Kobe	上野 Uyeno

## (注意)

1. 羅馬綴で書く場合に 'B' 'M' 'P' の前に来る「ン」の字は 'N' を用ふる代りに 'M' を用ひます。例へば

國民文庫 Kokumimbunko

朝日新聞 Asashishimbun

併し鐵道の驛名を顯はすに 'M' を用ひなくて 'N' を用ふる慣例もあります。

新橋 Shinbashi (Shimbashi)

神保原 Jinbobara (Jimbobara)

新町 Shinmachi (Shimmachi)

2. 短縮して發音する母音の次に来る子音は二ツ重ねて現はします。例へば

札幌 Sapporo 日暮里 Nippori

日光 Nikko 新田 Nitta

北海道 Hokkaido 沼垂 Nuttari

3. 長く發音する場合には其母音の上に普通符合 (ー) を用ふるも大文字のみで書いて在る場合には體裁上是を略します。例へば Kobe (神戸) Hyogo (兵庫)

## 練習

1. 讀者は先づ此例題を自ら書き映して下の解答と比較して其誤れるは是を訂正すべし

- |        |        |         |
|--------|--------|---------|
| 1. 濱離宮 | 2. 二重橋 | 3. 靖國神社 |
| 4. 泉岳寺 | 5. 團子坂 | 6. 宇都宮  |
| 7. 前橋  | 8. 新宿  | 9. 平塚   |
| 10. 沼津 |        |         |

- |               |               |                    |
|---------------|---------------|--------------------|
| 1. Hama-rikyu | 2. Niju-bashi | 3. Yasukuni-jinsha |
| 4. Sengaku-ji | 5. Dangozaka  | 6. Utsunomiya      |
| 7. Mayebashi  | 8. Shinjuku   | 9. Hiratsuka       |
| 10. Numadzu   |               |                    |

## 2. 次の文字を讀め

- |             |               |            |
|-------------|---------------|------------|
| 1. Gotemba  | 2. Tenriugawa | 3. Wasuizu |
| 4. Hodogaya | 5. Ohigasaki  | 6. Nagoya  |
| 7. Gifu     | 8. Hikone     | 9. Kusatsu |

## 即ち

- |        |        |        |
|--------|--------|--------|
| 1. 御殿場 | 2. 天龍川 | 3. 猿津  |
| 4. 程ヶ谷 | 5. 躰ヶ崎 | 6. 名古屋 |
| 7. 岐阜  | 8. 根   | 9. 草津  |

## 第三編

## I 發音 (Pronunciation)

前. 既に學んだ26文字は其發音に依て 母音と 子音との二種に區別される。是れからそれを説明します。

1 母音 a, e, i, o, u, の5文字を母音と云ふ何故ならば如何なる言葉でも此中の何れかを含まなければ音を成さないからです。ソして此等の音は喉から出る音であります。

2 子音 母音を除いた他の21文字 (b, c, d, f, g, h, j, k, l, m, n, p, q, r, s, t, v, w, x, y, z) を子音と云ふ。是等は母音と合して始めて音を成す文字です。そして此等の音は唇、齒、上顎、鼻の何れかの助けを借りなくは發音出来ません。

(注意) h, w, y の3文字は或る場合には母音の様に用ふともある。

3 母音の長音 (Long vowel sounds) 母音の場合に依て違ふから先づ一通り其場合を覺ねなければならぬ。

(イ)母音が單獨である時には、其發音は最初覺れた文字の綴方(即ち元來の長音)通りに發音する。

エー    イー    アイ    オー    ユー    ヲイ  
 ā    ē    ī    ō    ū    ū

注意(一)の符號に斯の様な長母音の上に付く。

(ロ)子音が前に付いて一緒に發音する時も矢張り其母音は原來の長音です。例へば子音の m と n とを各自母音に組合はすれば

メー    ミー    マイ    モー    ムー    ヲイ  
 M...mā    mē    mī    mō    mū    mū

ネー    ニー    ナイ    ノー    ヌー    ナイ  
 N...nā    nē    nī    nō    nū    nū

以下皆同じです。茲に集めた一組宛は清音と濁音とになつて居るから發音して御覽なさい

{ K...ka    ke    ki    ko    ku    ky

{ G...ga    ge    gi    go    gu    gy

{ P...pa    pe    pi    po    pu    py

{ B...ba    be    bi    bo    bu    by

{ T...ta    te    ti    to    tu    ty

{ D...da    de    di    do    du    dy

{ S...sa    se    si    so    su    sy

{ Z...za    ze    zi    zo    zu    zy

{ F...fa    fe    fi    fo    fu    fy

{ Z...za    za    zi    zo    zu    zy

次に組合せてあるのは、よく發音を區別して覺わなければなりません日本の假名で書き表すとは、殆んど出来ません

{ H...ha    he    hi    ho    hu    hy

{ F...fa    fe    fi    fo    fu    fy

{ J...ja    je    ji    jo    ju    jy

{ Z...za    ze    zi    zo    zu    zy

{ R...ra    re    ri    ro    ru    ry

{ L...la    le    li    lo    lu    ly

(注意)長音の u の前に r のある時は  $\bar{u}$  と發音せず  $\bar{u}$  (u) と發音する。

{ W...wa    we    wi    wo    wu    wy

{ V...va    ve    vi    vo    vu    vy

(ハ) c は a, o, u の前に來る時は k の様に發音します。之を記すには (e) の符號を付ける

e (=k)...    ea    eo    eū

又 e, i, y の前に來る時は s の様に發音します。之を記すには (ç) の符號を付ける

ç (=s)... çē    çī    çy

(ニ) g は a, o, u の前に在る時には k の濁音に發音する。符號は (g̃) です

G...gā    gē    gī    gō    gū    gū

又 e, i, y の前に在る時には j の様に發音します。符號は (j̃) です

G. ġ=j ġe ġi ġy

(\*) Oは <sup>フー トー</sup>do, to どの發音の規則ではあるが言葉として使ふ時の

發音はOはウーといふ。符號は(O)です

Q.....dq to

#### 4 複合子音 <sup>Compound Consonants</sup> (Compound Consonants) 單獨母音に子音を複合

させて前に付けては其母音は長音に發音します。

Bl...blā blē bli blō blū blȳ

Cr...cra cre cri cro cru cry

Fl...flā flē fli flō flū flȳ

Gr...grā grē gri grō grū gry

Pl...plā plē pli plō plū plȳ

Dr...dra dre dri dro dru drȳ

Sk...skā skē skī skō skū skȳ

Sç...sça sçe sçi sço sçu sçȳ

次に擧げる例は不規則とも云ふべきものですから注意して記憶

なさい

Wr... (=r) ...wrā wrē wrī wrō wrū wrȳ

Kn... (=n) ...knā knē knī knō knū knȳ

(注意) r, の前の w, n の前の k は發音しません。

{Ch.....chā chē chi chō chū chȳ

{Ch(=k) chā chē chi chō chū chȳ

{Th.....thā thē thi thō thū thȳ

{Th(濁音) tha the thi tho thū thy

Ph(=f) pha phē phī phō phū phȳ

Wh(=hw) whā whē whi whō whū whȳ

Qu(=kw) quā quē quī quō quū quȳ

(注意) 'q' は 'u' と合しなければ單獨では決して母

音に付きません。

#### 3 母音の短音 <sup>Short Vowel Sounds</sup> (Short Vowel Sounds) 母音には又短音の

發音がある。是れが普通日常用ひられる發音です。是を記すには母音の上に(˘)の附號を付ける。

ä ē ī ō ū

是等の發音は日本の假名で現はすとは殆んど出来ませんが

ä.....「エ」&「ア」の間音にて強く短かき音

ē.....「エ」の短き音

ī.....「イ」に近し

ō.....「オ」に近し

母音の次に子音の来る時は其母音は短音となります。今長音と短音とを比較して見るに

母音の次に子音の来る時は其母音は短音となります。今長音と短音とを比較して見るに

{	bā	bē	bī	bō	bū
	āb	ēb	īb	ōb	ūb
{	dā	dē	dī	dō	dū
	ād	ēd	īd	ōd	ūd
{	mā	mē	mī	mō	mū
	ām	ēm	īm	ōm	ūm
{	nā	nē	nī	nō	nū
	ān	ēn	īn	ōn	ūn
{	tā	tē	tī	tō	tū
	āt	ēt	īt	ōt	ūt
{	pā	pē	pī	pō	pū
	āp	ēp	īp	ōp	ūp

II 綴字 (Spelling) <sup>スペル</sup>

前節で説明した發音の方則に基いて是れから綴字を教えます。

(1) 母音ノ次ニ子音アル時ハ其母音ヲ短クス。

先づ此法則を覺ね次の例を御覽なさい。

1				
アッブ	エッブ	イッブ	オッブ	ウッブ
āb	ēb	īb	ōb	ūb
カッブ	ウェッブ	ジッブ	ジョッブ	キューブ
cab	web	jib	job	cub
ナッブ	ネッブ	リッブ	ロボッブ	トゥッブ
nab	neb	rib	rob	tub
2				
アッド	エッド	イッド	オッド	ウッド
ād	ēd	īd	ōd	ūd
bad	bed	hid	god	bud
had	red	did	rod	cud
3				
アッグ	エッグ	イッグ	オッグ	ウッグ
āg	ēg	īg	ōg	ūg
bag	leg	big	dog	bug
rag	leg	pig	log	dug

## 4

アム	エム	イム	オム	ウム
ām	ēm	īm	ōm	ūm
ham	them	him	tom	sum
gam	gem	dim	nom	gum

## 5

アン	エン	イン	オン	ウン
ān	ēn	īn	ōn	ūn
man	men	tin	con	sun
can	hen	pin	bon	run

## ウオン

(注意) ān には例外あり wan と發音す

## サオン タオン ヲオン

ON にも例外あり son ton won

## 6

アップ	エップ	イップ	オップ	ウップ
āp	ēp	īp	ōp	ūp
cap	tep	lip	top	cup
map	step	hip	hop	sup

## 7

アット	エット	イット	オット	ウット
āt	ēt	īt	ōt	ūt
hat	get	hit	got	but
cat	pet	sit	bot	cut

## 8

アックス	エックス	イックス	オックス	ウックス
āx	ēx	īx	ōx	ūx
wax	sex	six	box	blux
tax	vex	mix	fox	-

## 9

アズ	エズ	イズ	ウズ
ās (=az) ēs		īs (=iz)	ūs

## アッズ

has (=haz) yes his (=hiz) - thus

## アス

AS this - -

## ウオズ ガス

(注意) AS には尙次の例外あり was gas

## 10

アック	エック	イック	オック	ウック
āc	ēc	īc	ōc	ūc
āck	ēck	īck	ōck	ūck
sack	neck	sick	cock	duck
back	deck	thick	clock	stuck

## 11

アッチ	エッチ	イッチ	オッチ	ウッチ
āch	ēch	īch	ōch	ūch
ātch	ēch	it ch	ōtch	ūtch

catch fetch rich botch much  
 match sketch ditch notch such

12

アッシュ エッシュ イッシュ オッシュ オアッシュ  
 āsh ēsh īsh ōsh ūsh  
 cash mesh dish bosh crush

13

アンプ エンプ インプ オンプ オアンプ  
 āmp ĕmp ĩmp ōmp ūmp  
 lamp hemp limp romp jump

14

アング エング インク オンク オアング  
 āng ĕng ĩng ōng ūng  
 hang — sing long sung

15

アंक エंक インク オンク オアंक  
 ānk ĕnk ĩnk ōnk ūnk  
 bank — sink — junk  
 drank — drink — drunk

(2) 母音ノ次ノ子音ガ e ヲ其次ニ伴フ時ハ其母音ハ原ノ長音ニ

發音ス

ノー ノオット ノート

例へば nō が not となり. note となるの類とす. 是れ

から其例を次に挙げます

マット	メイト	タップ	チューブ
mā.....māt.....māte		tū.....tāb.....tūbe	
スイット	サイト	メット	メート
sī.....sīt.....sīte		mē.....mēt.....mēte	

1

エーブ イーブ アイブ オーブ ユーブ  
 ābe ēbe ībe ōbe ūbe  
 babe glefe tribe globe cube

(3) Eノ長音ハ語尾ニ E ヲ附ケズシテ E ヲ重ヌ

此法則は次の例で比較して見れば直ぐ解ります

メット	ミート	テン	ティーン	レッド	リーフ
mēt.....meet		tēn.....tēen		rēd.....rēel	

2

エード イード アイド オード ユード  
 āde ēde īde ōde ūde  
 made need hide mode rŭde

3

エーフ イーフ アイフ オーフ ユーフ  
 āfe ēfe īfe ōfe ūfe

4

エ-フ	イ-フ	アイフ	オ-フ	ユ-フ
ake	ēke	ike ēek	ōke	ūke
make	meek	like	joke	duke
cake	week	pike	spoke	puke

5

エ-ル	イ-ル	アイル	オ-ル	ユ-ル
ale	ēel	ile	ōle	ūle
male	feel	mile	hole	mule

6

エ-ム	イ-ム	アイム	オ-ム	ユ-ム
ame	ēm	ime	ōme	ūme
male	seem	time	home	fume

7

エ-ン	イ-ン	アイン	オ-ン	ユ-ン
ane	ēen	ine	ōne	ūne
cane	keen	fine	tone	tune

8

エ-フ	イ-フ	アイフ	オ-フ	ユ-フ
ape	ēep	ipe	ōpe	ūpe
cape	deep	pipe	rope	dupe

9

エ-ス	イ-ス	アイス	オ-ス	ユ-ス
	ēese	ise	ōse	ūse

case	geese	wise	rose	muse
------	-------	------	------	------

10

エ-ト	イ-ト	アイト	オ-ト	ユ-ト
ate	ēet	ite	ōte	ūte
gate	feet	write	wrote	flute

11

エ-ヴ	イ-ヴ	アイヴ	オ-ヴ	ユ-ヴ
ave	ēeve	ive	ove	uve
gave	sleeve	five	rove	...

12

エ-ズ	イ-ズ	アイズ	オ-ズ	ユ-ズ
aze	ēeze	ize	ōze	ūzi
gaze	breeze	size	doze	...

(4) ce ハ s ノ清音トナル

13

エ-ス	イ-ス	アイス	オ-ス	ユ-ス
ace	ēeēe	ice	ōce	ūce
face	fleece	rice	...	...

(5) ge ハ j ノ音トナル

14

エ-ジ	イ-ジ	アイジ	オ-ジ	ユ-ジ
age	ēge	ige	ōge	ūge
page	...	...	doge	huge



是れから次に挙げるのは不規則のですが日常多く使ふ字が多い  
故讀者は努めて記憶せねばなりません

(6) ar.....ノ a (ā) ノ長音トナル

e, i, u.....ノ次ニ r ノ來ル時ハ皆短音トナル

(注意)此の場合ハ (ē) (ī) (ū) の符號で表はされる  
音で日本語の「ア」「ウ」どの間の短音となりま  
す。次の例を御覽なさい。

är	ēr = ir	ör	ür
ファー far	ハー her	バード bird	ホース horse
		ハート hurt	

(7) are ....ノ a ハ ä ト ö ノ間音トナル 符合は (ä)

ere ....ノ e ハ初ノ e ハ長音或は ä ノ音トナル

äre = ere	ire	öre	üre
äae			
cäre	häre	fire	fore sure
färe	thäre	wire	more pure

ディフソングズ  
複合母音 (Diphthongs)

今まで説明して來たのは母音に子音、或は子音に母音の付く場  
合のみでしたが、これから説明するのは母音と母音とが重なつ

て居る時の發音です。是れも實例を挙げた方が解り易いですが  
ら。次の例を御覽なさい。

1

ai } = a  
ay }

{ day aid ail rain bait  
say maid rail train wait

2

ei } = e  
ey }

they, prey, grey, eight, weight freight

3

ēē } = ē  
ēa }

see scē eat drēam ēach  
tree tēa mēat crēam teach

4

oa } = o  
oe }

toe coal oak coat soap  
foe goal soak goat coach

5

au, aw. は「アウ」と「オー」どの間音 (a)

saw claw baut crawl yawn

aw draw mail bowl down

6

aw二音			
ニウ	フュー	グロウ	ブロー
new	flew	grew	blew
フュー	ブロー	グロウ	ストロウ
few	blew	drew	strew

8

oi, oy, は初め「オイ」に發音

boy oil coinoint noise

joy bail joinpoint sojourn

9

oo (長音) ウー

oo (短音)「ウ」に「音」の異なる

fool soon noon poor soon

foot good wheel black back

10

ou 「アウ」

ow 「アウ」或「オー」

out loud house found mount

owl how now gown known

11

次の例は發音の同じなのです

ur = ur ur = ur = ur

turn fur their = their bear

hurt = hurt where hair year

pure = pair (sire) — (ir)

glare chair (sare) — (sair)

stare = stair (squire) — (sair)

III 分節法 (Syllabization.)

英語の中には英語によりて一音に發音するものと二音若しくは二音以上に發音するものとがあります。即ち一音に發音するものは一音節、二音に發音するものは二音節と云ふやうに。夫れそれ發音の變數に從つて音節が或は單音となり、或は多音となるものです。

ペ	ブ	ボー	——	單音
pe	bu	boy	——	單音
ペ	ブ	ボー	ブ	多音
pe	bu	boy	bu	多音

IV 揚音符 (Accent.)

多音節には其中どれかの一節を他の節よりも強く發音するので、之れを「アクセント」と曰ひます。而して夫れを示すには(´)の符號を附けます。それで先符號即ち「アクセント」が節尾に付いて居る時は其音に居る全節を強く發音するのです。

## 練習

次の語を正しく發音なさい。

ステーション	ブッキング オフィス	レールウェイ
stā'tion	bōōk'ing—ōōf'fīce	rāil'way
エントランス	デパチュアー	ウェイトング ルーム
ēn'trançē	dē-pārt'ūre	wāit'ing—rōom
パッケージ	アライバル	パッサンジャー
pāck'āge	ar-riv'al	pās'senger
ティックット	ディスカウント	ウィックット
tīck'et	dis'count	wīck'et
ドレーイルメント	サイディング	ロコモティブ
dē-rāil'ment	sid'ing	lo'co-mō'tive

## V 發音符 (Phonetic marks)

今まで學んだので發音と綴字の一般の法則は解つたらうと思ふ  
 今度次に説明するのは發音に付て既に話したとを表にして集め  
 たに過ぎない。併し字書を引いたりして獨學する人には極めて  
 必要だから重複を厭はず更に茲に掲載する。

## I 母音 (Vowels.)

A	正則音	(1) ā (エイ) ... rail, train, day, brake.
		(2) ā (ア) ... man, flag, pas'sage, lamp.
		(3) ā (エア) ... care, air, chair, share.
		(4) ā (ア) ... car, arm, far, large.
	不規則音	(5) ā (ア) ... fast, last, past, grass.
		(6) ā (aw=オウ) ... ball, paw, fault, haut.
		(7) ā (ō=オ) ... what, wan, wander, wash.

e	正則音	(1) ē (イ) ... speed, mete, feel, steam.
		(2) ē (エ) ... men, red, ten, check.
	不規則音	(3) ē (=ā)(エ) ... ere, there, their, bear.
		(4) e (ア) ... her, term, stern, verb.
		(5) e (=ā)(エ) ... teh, prey, grey, eight.

i	正則音	(1) ī (アイ) ... mile, rife, hide, side.
		(2) ī (イ) ... mill, rid, till, sit.
	不規則音	(3) i (=c)(ア) ... first, bird, gril, thirst.

o	正則音	(1) ō (オウ) ... rope, hōte, hō, fōe.
		(2) ō (オ) ... hōt, nōt, stōp, shōt.
	不規則音	(3) ō (=aw)(ア) ... fōr, fōrm, ōr, stōrn.
		(4) o (=ōō)(ウ) ... tō, dō, whō.
		(5) o (=ōō)(ウ) ... woman, wolb, Bosom.
		(6) ō (=ū)(ア) ... son, (=sūn) won (wūn) ton.

u	正則音	(1) ū (ユウ) ... ūse, tūne, mūle, dūke.
		(2) ū (ウア) ... pūmp, pūnch, brūsh, mūch.
	不規則音	(3) ū (=ē)(ア) ... fūr, cūr, būrst, cūrse.
		(4) u (=ōō)(ウ) ... rude, rude, crude, prude.
		(5) u (=ōō)(ウ) ... put, pull, push.

## (2) 子音

c	e (=k) (ケ).....	ケイカ	バック	ケイダ
	cake,		back,	cage.
g	g (=s) (ス).....	セント	ライス	アイス
	cent,		rice,	ice.
ch	ch (チ).....	チャイルド	チャーア	チューズ
	child,		chair,	choose.
ch	ch (=k).....	コード	キャラクター	ケミストリ
	chord,		chär'acter,	chémistry.
g	g (グ) (グ).....	グット	ゲイン	ドッグ
	get,		gain,	dog.
g	g (=j) (ヂ).....	ページ	ケイダ	ゲイアント
	page,		cage,	giant.
s	s (ス).....	セイム	サイド	サック
	same,		side,	sack.
s	s (=z).....	ハズ	ウォズ	イズ
	has,		was,	is.
th	th: (ス).....	パス	トルース	スィンダ
	path,		truth,	thing.
th	th (ズ).....	ズー	ダズ	ザット
	the,		this,	that.
x	x (=ks) (クス).....	ボックス	ミックス	フィックス
	box,		mix,	fix,
x	x (=z) (グズ).....	エグズィスト	エグゼート	エグザンプル
	exist,		exert,	example.

## 第四篇

### 譯讀文法

譯讀と文法とは、密接の關係があるもので、ドウしても是を分離しては、説明も出來ず、また記憶するとも出來ないのである。今英文を説明する前に、一通り言語、文字、文章等に關する一斑の定義を知らなければならぬ。勿論是等の事柄は英語だとして日本語と少しも違つては居らぬ。

#### (1) 言語 (word) トハ人ノ思想ヲ表ハス聲音ナリ

人間が其思想を表はす方法は色々ある。身振でも手眞似でも目付でも出来る。そして聲を出して表はすのが即ち言語である。だから其表はす意味(或は含む觀念(がなければ決して言語とは云はれない。

#### (2) 文字 (Letter) トハ言語ヲ形ニ表ハス符號ナリ

言語と文字とは全く同一物でないとは明かだ。言語は主人公で文字は只だ符號に過ぎない。目に一丁字なき子供や女でも立派に談話が出来るのが其證據だ。

#### (3) 文章 (Sentence) トハ二個又ハ二個以上ノ單語ヲ正シク配列シテ完全ナル思想ヲ表ハシタルモノヲ云フ。

例へば

語…なり 上野、停車場。此、建物は、  
文…此建物は上野停車場なり。

であつて只だ言語が無暗に集まつたわけでは決して文章ではありません。茲に文法の必要が起つて来る。即ち言語を正當に配列する爲めに、其用法、性質、變形等を説明するのが文法である。そして其組み立てられた文章を 解釋し説明するのが所謂「譯讀」である。

Lesson (第一課)

is (アル) this (是ハ) station (停車場)

a station. This is. Is this?

This is a station.  
是は ある 停車場で

讀者は先づ氣が付かれるでせう。日本語で「是は停車場である」と云ふ所を、英語では「是はある停車場で」と云ふ様に全く言葉の組立の順序が違つて居るとに、サ此英語は如何して斯く變つた様に組み立てるか云へば、それは文法に依てチャント法則があるのです。

Grammar (文法)

1 名詞 凡テ事物ノ名ヲ名詞ト云フ

例へば station (停車場) window (窓, 發賣口) ticket (切符)  
Chair (椅子) table (テーブル) box (箱) book (本)

Bench (腰掛) Desk (机) Pen (ペン) Knife (小刀)

は皆名詞であります。そして斯う云ふ類の一般に通ずる名を普通名詞と云ふのです。

2 冠詞 (Article) 名詞の前に置く語なり

前の文章の“a”と云ふ字は冠詞です。英語では“a”と云ふ冠詞が普通名詞の前に付いて居る時は“a”は「一箇」と云ふ意味で一箇の物を云ふ時に用ふるのです。だから“a boy”は「一人の男兒」「a ticket」は「一枚の切符」と云ふのです。普通日本語では一々「一箇」の物と云ふ必要はないのです。英語では必ず此字を付けねばなりません。

3 文章 (Sentence) を書くには必らず“Capital” (大字) にて始め“Period” (.) を以て結ぶ可し。

前の‘This is a station.’は完全なる思想を表はして居るから、無論“Sentence”です其書はじめの“T”は大字で書き、其終りには(.)が付いて居ります。

Exercise. (練習) (1)

- (例題) 1. 是は切符です.....This is a ticket.
- 2. 是は窓です.....This is a window.
- 3. 是はテーブルです.....This is a table.

上の例に依つて次の和文を英譯せよ。

1. 是は箱である。
2. 是はペンである。
3. 是は腰掛です。
4. 是は机です。
5. 是は帽子 (hāt) です。
6. 是は犬 (dōg) です。
7. 是は鼠 (rāt) です。

## Lesson II (第二課)

マン	ボーイ	ザット
mān (人, 男)	boy (男ノ子)	That (アノ, アレ, ソノ)
ウーマン	ガール	ハズ
woman (女)	girl (女ノ子)	hāz (持つ)
ケー	アンド	ウォッチ
Cāne (杖)	ānd (及び)	watch (懐中時計)

1.

This is a man.  
是はある 男で

That is a woman.  
あれはある 女で

2.

This man has a cane.  
此男は 持つ 杖を

That woman has a ticket.  
その女は 持つ 切符を

3.

This man has a hat and a cane.  
此人(男)は 持つ 帽子 及び 杖を

## 和 譯

1

是は男です

あれは女です。

2

此男は杖を持つて居ます。あの女は切符を持つて居ます。

3

此人(男)は帽子と(及び)杖を持つて居る。

## Grammar (文法)

讀者は此例によつて "This" に「是は」と「此」との二つの譯方あり  
"That" に「アレハ」と「ソノ」と「ソレハ」と  
「その」との四つの譯し方あるとが解つたでせう。

(注意) 名詞の前に "This" "That" を置くときは "a" と云ふ  
冠詞を略します。

## Exercise (練習) (2)

トレーン	カップリング	スプリング
Train (列車)	Coupling (聯結器)	Spring (彈機)
パンチ	トランク	ワイヤー
Punch (改鋏)	Trunk (鞆)	Wire (針金)

(例題)

1. あの男(人)は帽子と鞆を持て居る。

That man has a hat and a trunk.

2. あれは列車です……That is a train.

3. これは二等切符です。

セカンド クラス

This is a second class ticket.

4. 此人は改鉄を持て居る。

This man has a punch.

### 和文英譯

1. 是は連結器です
2. あれは針金です。
3. 此人は改鉄と針金を持て居ます。
4. あの女の子は懐中時計と切符とを持つて居ます。
5. 此家 (This house) は停車場です。  
ザ ステーション マスター
6. 此人は驛長 (The station master) です。
7. 驛長は馬 (horse) と犬とを飼つて (has) 居る  
ホース
8. 其女は猫 (cat) と犬とを飼つて居る。  
キャット
9. 其人は鈴 (Bell) を持つて居る。  
ベル
10. 其家 (That house) は郵便局 (The post-office) です  
ハウス ザ ポスト オフィス
11. 此列車は下り列車 (down-train) です。  
ダウン トレイン

### Lesson III (第三課)

イット イエス ノー  
it (ソレハ) yes (「然リ」即チ) ソウデス (「否」即チ  
「イーエ」) nōt, (非ズ) Pās'senger train (旅客列車)  
ノット パセンジャー トレイン  
グッズ トレイン ホスピタル  
goods-train (貨物列車) hos'pital (病院)

- |                                 |                          |
|---------------------------------|--------------------------|
| (1) Is this a station ?         | No, this is a hospital.  |
| (2) Is this a ticket ?          | Yes, it is (a ticket).   |
| (3) Is that a passenger train ? | No, it is a goods-train. |

是れを和譯すれば

- |               |               |
|---------------|---------------|
| (1) 是は停車場ですか。 | イーエ、是は病院です。   |
| (2) 是は切符ですか。  | サウデス、それは切符です。 |
| (3) あれは客車ですか。 | イーエ、あれは貨車です。  |

### Grammar (文法)

日本では問ふ時に「……………カ」と「カ」の字を終りに付けますが英語では然ふではありません。先づ次の比較を御覽なされば自ら解ります。

是は切符です……………This is a ticket.

是は切符ですか……………Is this… a ticket ?

即ち動詞の “Is” を主格の “This” の前に出せば問ふ形になるので換言すれば主格と動詞との位置を轉倒して問を表はすのです。

### 注意

1. “Yes” “No” の後には必ずコンマ (,) を御付けなさい。
2. 疑問文は必ず疑問符 (?) で結ぶとを忘るな。
3. “It” は「ソレ」の意味にて其物を指示さない時に用ふ。故

に日本語に譯する時は往々不要となる。例へば

Is this a ticket? 是は切符ですか。

Yes, it is a ticket. 左様(ソレハ)切符です。

Is that a pen? あれはペンですか。

Yes, it is a pen. 左様(ソレハ)ペンです。

4. 普通會話等では、疑問に用ひた語を略して云はない。

例へば

Is this a ticket? 是は切符ですか。

Yes, it is (a ticket). ナウです。

No, it isn't (a ticket). ナウではありません。

5. 英語では決して主格を略してはいけません。

### Exercise (3)

エレクトリック カー      チェック  
Electric car (電車)      Check (合札)

エレクトリック ライト      サード クラス カー  
Electric light (電燈)      Third class car (三等車)

エンジン      エンジン ドライヴァー  
Engine (機関)      Engine-driver (機関手)

例題

1. 是は三等車ですか……Is this a third class car?

2. { ナウです三等車です Yes, it is (a third class car).

{ イーエ. 是は二等車です No, this is a second class car

3. 此人は駅長ですか Is this man the station master?

(注意) "The" は後に説明す

### 和文英譯

1. 是は合札ですか。

2. { ナウです合札です ("it" を落す勿れ各例共).  
{ イーエ, 合札ではありません。

3. あれは電車ですか。

4. { そうです電車です。  
{ イーエ, 電車ではありません。

5. 此人は車掌コンダクター (conductor) ですか。

6. あれは郵便局ですか。

7. イーエ, あれは病院です。

8. あの人は機関手ですか。 ("an" を "a" の代りに用い

9. 是れは機関ですか。 } よ説明は後にあり)。

10. そうです是は機関です。

### 英文和譯

1

This is a station.

That is a house.

This is a table.

This is a hospital.



## 2

This man has a punch.

That boy has a watch.

This man has a cane and a book.

That woman has a ticket and a check.

That boy has a hat and a trunk.

## 3

Is this a hospital? Yes, it is a hospital.

Is this a post-office? No, it is a station.

Is that a passenger train? Yes, it is (a passenger train)

Is that a second class car? No, it is a third class car.

## Lesson IV (第四課)

*ワット	セルディング	ガイドブック	マップ
what(何)	build'ing (建物)	guide'-book (案内記)	māp (地図)
スクール	ポイントリー	プラム トリー	
school (学校)	pine'-tree (松ノ木)	plūm-tree(梅ノ木)	
ディクシヨナリー	バムブー	バッグーザ	
dic'tionary (字書)	bāmbū' (竹)	būg'gaze (手荷物)	

## 1

What is this? This is a guide-book

What is that? That is a map.

## 2

What building is this?

This building is a station.

What is this building?

That building is a school.

## 3

Is that a hospital? No, it isn't.

What is it? It is a station.

(注意) isn't="is not" にして會話等には普通此略字を用ふ。

## (和 譯)

## 1

是は何ですか。 是は案内記です。

あれは何ですか。 あれは地図です。

## 2

此建物は何ですか。 此建物は停車場です。

あの建物は何ですか。 あの建物は學校です。

## 3

あれは病院ですか。 イーエ、そうぢやありません。

(それは)何です。 (それは)停車場です。

## Grammar. (文 法)

\*ワット "what" とか \*エーアー "where" とか云ふ様な語を普通に疑問詞と云

よ疑問詞は凡て文の始めに置くべし。

(主格)

This is a pen.

Is this.....a pen?

What is this? (是は何ですか)

名詞の前に "what" を置く時は冠詞の "a" は不要です。

上の英文の「2」の例を御覧なさい。

### Exercise. (4)

- 例題) 1 是は何ですか。 What is this?  
 2 是は手荷物です。 This is a baggage.  
 3 あの本は何ですか。 What is that book?  
 4 是は何の木です。 What is this tree?  
 5 梅の木です。 It is a plum-tree.

### 和文英譯

- 1 あの大きな (big) 本は何ですか。  
 2 あれは字書です。  
 3 此小さい (little) 本は何ですか。  
 4 是は手帳 (note-book) です。  
 5 是の木は何です。  
 6 是は竹です。

### Lesson V (第五課)

インクスタンド	エンジン	機関	アップル
ink'stand (インクスタンド)	engine (エンジン)	ap'ple (アップル)	
アンブレラ	オレンジ	エレファント	
umbrel'la (アンブレラ)	ôr'ange (オレンジ)	el'ephant (エレファント)	
イーグル	カウ	エッグ	オックス
ea'gle (イーグル)	cow (カウ)	egg (エッグ)	ox (オックス)
スチーム	ボイラー		
stēam'-boil'er (スチームボイラー)			

1. Is this a cane? No, it is an umbrella.  
 2. What is this? This is an engine.  
 3. Is this a cow? No, it is an ox.  
 4. What is this? This is an apple.  
 5. What is that? That is an ink-stand.

此練習に於て "an" と云ふ字に注意なさい。

### Grammar (文法)

名詞が母音 (a, e, i, o, u) を以て始まる時は冠詞 "a" を "an" と爲す。

是れは何も六ヶ敷規則と云ふではなく、只だ發音上の便宜から來たので即ち其母音と "a" との發音の混同を避ける爲めに "n" を挟むのです。

## Exercise (5)

- 例 1. 此動物は何ですか。 <sup>アニマル</sup>  
{What is this animal (動物) ?
2. 此動物は象です。  
{This animal is an elephant.
3. 此人は何(職業)ですか。  
{What is this man ?
4. 此人は機關手です。  
{This man is an engine-driver.
5. あの人は技手です。 <sup>アシスタント</sup>  
{That man is an assistant engineer.

## 和文英譯

1. 此鳥は鳥 (crow) <sup>クロー</sup> ですか。
2. イーエ、それは鳥 (owl) <sup>オウル</sup> です ("an").
3. 此菓 (fruit) <sup>フルート</sup> は何ですか。
4. それは蜜柑です (an).
5. 此鳥は鷺ですか (an).
6. それは斧 <sup>アックス</sup> (axe) です (an).
7. あの女の子は洋傘を持って居る (an).
8. 是は梅の木ですか。
9. イーエ、是は林檎の木です (an).
10. 蠅 (a fly) <sup>フライ</sup> は虫 (insect) <sup>インセクト</sup> である (an).

## Lesson VI (第六課)

イン オン バイ ヒーアー  
in (中に) on (上に) by (傍に) here (此處に)

レッド ホワイト ファースト クラス セーアー  
red (赤) white (白) first class (一等) There (アソコに)

テレグラフ オフィス ポリスボックス  
Telegraph Office (電信課) Police-Box (派出所)

\*エアー ブッキング ウィンダー  
where (どこに) booking-window (出札口)

## 1

Here is a white ticket in a hat.  
There is a red ticket on a bench.

## 2

The ticket in the hat is a first class ticket.  
The ticket on the bench is a third class ticket.

## 3

Where is the booking-window?  
It is the second window

Where is the telegraph office?  
It is in the station.

此處に帽子の中に白切符があります。

腰掛の上に赤切符があります。

## 2

(ツノ)帽子の中の切符は一等切符です。

(ツノ)腰掛の上の切符は三等切符です。

## 3

出札口は何處ですか

「ツレハ」二ツ目の口です。

電信局は何處ですか。

「ツレハ」停車場の中にあります。

## Grammar. (文法)

“The” 及び “A” 冠詞と云ふ。

(a) “The” 定冠詞 (Definite article) と云ふ。

此 “The” と云ふは固く “That” 或は “This” の形の變つたので其意味は “That” 或は “This” よりは弱ひです。だから日本語の所謂「此物」或は「アノ物」と云ふ様に現に其物を指示して云ふ時には “This” “That” を用ひます。

“The” は其物を指し示さずに只だ心の中で暗に是を指すので、聞く人が其何物なるか直に合點し得る場合に “The” を用ふるのです。ですから前に一旦名指して再び其名詞を繰返す時などに用ひます。

日本語で「アノ」或は「ツノ」或は云はない場合でも實際其意味は「アノ」或は「ツノ」を示す時は必ず “The” を用ふ。

The ticket in the hat [アノ] 帽子の中の [アノ] 切符  
又日本語で「腰掛ノ上ニ切符ガアル」など、云ふは是を一枚の切符或はあの本、何れかの事だから必ず “a” 又は “the” を附けなければなりません。

(b) “a” 或は “an” を不定冠詞 (Indefinite Article) と云ふ  
此詞は “one (一)” の形の變つたのですが勿論 “one” よりは意味が弱いです。

(注意) 日本語で單に「此處ニ切符ガアル」或は「切符カ何處ニアル」等と只だ「切符」と云ふ時は其意味は「一枚ノ切符」の意味ですから其時は “a” を附け若し「此切符」「彼切符」の意味ならば必ず “The” を付けなければなりません。

あそこに [一枚] 切符がある。There is a ket.

[ツノ] 切符は何處にあるか。Where is the ticket.

## Exercise (6)

例 (1) テーブルの上に案内記があります。

There is a guide-book on the table.

(2) 木に大きな鳥が居ます。

There is a big bird on a tree.

- (3) 其木の鳥は鷲です。  
The bird on the tree is an <sup>イーグル</sup> eagle.
- (4) 賃錢は<sup>フェア</sup>(fare)何程ですか。  
What is the fare?
- (5) 茲に賃錢を置きます。  
Here is the fare.
- (6) 價<sup>プライス</sup>(Price)は幾らですか。  
What is the price?
- (7) 停車場は何處ですか。  
Where is the station?
- (8) 自動電話<sup>オートマチック テレフォン</sup>(automatic telephone)は何處にありますか。  
Where is the automatic telephone?

## 和文和譯

- 郵便局 (The post office) は何處ですか。
- 警察署 (The police station) は何處ですか。
- 巡査派出所は何處ですか。
- 帝國鐵道院 (Bureau of the Imperial Government Railways) は何處にありますか。
- 鐵道案内所<sup>ザ インクワイアリー オフィス</sup> (The Inquiry Office) は何處ですか。
- 手小荷物取扱所<sup>ザ ラグゲージ アンド パーセルズ オフィス</sup> (The Luggage and Parcels Office) は何處ですか。

7. 是は公衆電報取扱驛<sup>ザ マブリック テレグラフ ステーション</sup> (The public telegraph station) ですか。  
はい左様です。
8. 小荷物引渡所<sup>ザ パーセルズ フォワードイング オフィス</sup> (The Parcels Forwarding Office) は何處ですか。

次の英文を譯して看よ。(此例は Choice Reader に依る)

## 1

What is this? This is a cat.  
Where is the cat? It is on a <sup>マット</sup> mat.<sup>1</sup>

## 2

What is that? That is an egg.  
Where is that egg? It is in a <sup>ネスト</sup> nest.<sup>2</sup>

## 3

What is this? This is a <sup>フィッシュ</sup> fish.<sup>3</sup>  
Where is this? It is in a <sup>ディッシュ</sup> dish.<sup>4</sup>  
What is that? That is a <sup>フォックス</sup> fox.<sup>5</sup>  
Where is that fox? It is on a box.

(註) (1) mat は(ムシロ, ゴザ, 畳等を云ふ。此處では靴を拭

ふ敷物) (2) nest (鳥の巢) (3) fish (魚)  
(4) dish (皿) (5) fox (狐)

## Lesson VII (第七課)

マイ	ゲイト	ウォール
my (私ノ)	gate (門)	Wall (壁)
ユア	ドアー	ガーデン
your (汝ノ)	door (戸)	garden (庭)
ヒズ	フロアー	スイーティング
his (彼男ノ)	floor (床)	ceiling (天井)
フェアテーブル	バゲージキャリングポーター	
Fare-table (貨錢表)	baggage carrying porter (赤帽)	

## 1

Here is a baggage-carrying-porter at the door.

There is a passenger by the gate.

## 2

There is the fare-table on the wall.

Here is a table on the floor.

## 3

Where is the book?

Where is my book?

Where is the knife?

Where is your knife?

Where is the ticket?

Where is his ticket?

## 和 譯

## 1

[此所に]赤帽が戸口に居ります。

[アソコに]旅客が門の傍に居ります。

## 2

壁に貨錢表が懸つて居ります (There is は邦語の「ガアル」なり)。

床の上 (here がある故勿論「此處の床」) にテーブルがある。

## 3

本は何處にありますか。	私の本は何處にありますか。
ナイフは何處にありますか。	貴下の本は何處にありますか。
切符は何處にありますか。	彼の切符は何處にありますか。

## Grammar (文法)

1. "The" は通例前に一度名指したものの即ち一度先きに挙げた名詞を再び出す時に是を付けるのですが、日常呼び馴れた家具等には始めから "The" を付けます。

何故なれば聞く人が其何を指して語つて居るか云ふとを了解して居るからです例へば

There is a porter at the door. (戸口に赤帽が居る)

と停車場で話す時は聞く人にはチャンと其停車場の戸口を指して居ると云ふとが解るからです。

2. 名詞の前に "my" "your" "his" 等の語を置く時は冠詞を略します。前の英文の (3) を御参照なさい。

3. 名詞の前に置きて位置を示す言葉 (“in” “on” “by” 等)  
プレポジション  
 を前置詞 (prep<sup>osition</sup>) と云フ。

4. “and” “or” 等は語と語と結合をする働きをする語で  
コンジャンクション  
 すから 接續詞 (Conjunction) と曰ひます

### Exercise (7)

(注意) 次に最も普通用ふる前置詞を示します

in 中に

on 上に 懸かつて(居る)

by 傍に

“at” 来て居る、行て居る

アットホーム  
 at home (家に居る)  
スクール  
 at school (學校に居る)  
プレイ  
 at play (遊んで居る)  
ワーク  
 at work (働いて居る)

ニアー  
 near (何々の近くに)

アンダー  
 un<sup>der</sup> (何々の下に)

ビハインド  
 behind (何々の陰に)

是等は日常使ふ語ですから皆覺わなくてはいけません。

(例題)

1. 其壁に懸つて居るものは何ですか。

What is that on that wall?  
ウォール

2. それは時間表です。

It is the time-table.

3. それは賃表です。

It is the fare-table.

4. 其棚 (shelf) の上の大きな本は何ですか。

What is that big book on the shelf?

5. 自動電話は巡査派出所の近くにあります。

The automatic telephone is near the police box.

6. 彼の家は停車場の近くです。

His house is near the station.

7. 庭にあるあの木は何ですか。

What is that tree in the garden?

8. 驛長は家に居ります。

The station master is at home.

9. 貴下のナイフを貸して下さい (lend me) ぞーぞ (please)

Please lend me your knife.

10. 私の小刀は抽斗の中にあります。

My knife is in the draw<sup>er</sup>.

### 和文英譯

1. 貴下の洋傘 (your umbrella) は戸の陰にある。

2. 私の家は郵便局の近くです。

3. 貴下の學校は何處ですか。
4. 私の學校は停車場の近くです。
5. 天井に居る (on the ceiling) あの虫は何ですか。
6. 机の上にある (on the desk) あの小さな本 (that little book) は何ですか。
7. 窓の傍 (by the window) に柵があります。
8. 私の帽子は何處にありますか。
9. 此停車場は何と申します (what station)。
10. 是は新橋停車場 (the……) です。

## Lesson VIII (第八課)

ラージ large (大ナル)      グッド good (善キ)      ニュー new (新シイ)

スモール small (小ナキ)      ワイズ wise (堅キ)      ヤング young (若キ)

ユースフル use'ful (有益ナル)      ファイン fine (立派ナ)      プレツティ pretty (奇麗)

ロング long (長キ)      ショート short (短キ)      トール tall (丈高キ)

シティ city (都會)      ユニヴァーシティ university (大學校)      デリゲエント diligent (勉強ナル)

タウン town (町)

## 1

Tokyo is a large city.

Kawasaki is a small town.

## 2

Mr. Suzuki is a good station-master.

Mr. Kobayashi is a young engineer.

Mr. Kimura is a diligent porter.

## 3

What is that large white building?

What is that small <sup>イキロ</sup>yellow bird on the tree?

## 和 譯

## 1

東京は大きな都會です。

川崎は小さな町です。

## 2

鈴木氏は善い驛長です。

小林氏は若い技手です。

木村氏は勉強な驛長です。

## 3

あの白い大きな建物は何か。

あの木に居る小さい黄色な鳥は何か。



## Grammar. (文法)

[形容詞]— “large” “small” “good” “young” “white” 等の如き語は名詞に附きて之を形容するを以て形容詞 (adjective) と曰ふ。

(注意) 名詞に形容詞の付く時は冠詞を形容詞の前に出します。

例題 (1) と (2) の例を御覽なさい。

## Exercise (8)

私が.....を持つ I have.....  
 汝が.....を持つ You have.....  
 彼が.....を持つ He has.....

## 例題

1. 上野停車場は大きな綺麗な建物です。

The Uyeno station is a large pretty building.

2. 田中氏は若い勤勉な助役 (Assistant station master) です。

Mr. Tanaka is a young diligent assistant station master.

3. 白鳥は頸 (neck) の長い脚 (legs) の短い大きな白ひ鳥です。

A swan is a large white bird, with a long neck and short legs.

4. あの脚の長い丈の高い (tall) 鳥は何ですか。

What is that tall bird with long legs. ?

5. 此本は有益な本です。

This is a useful book. (外例)

6. 副社長は (Vice <sup>ヴァイス</sup> <sup>プレジデント</sup> president) は賢く且つ善い人です。

The vice president is a wise and good man.

7. 帝國大學校は大きな煉瓦造 (brick) の建物です。

The <sup>イムペリアル</sup> Imperial U'niver'sity is a large brick building.

## 和文英譯

1. 吉田は勉強なブレークマン (制動手 brakeman) です。

2. 山田は勉強な給仕 (boy) です。

3. 太田は良い學生 (student) です。

4. 私は新しい本を持って居る

5. 總裁 (The President) は立派な家を持って居る。

6. 馬は (The <sup>ホース</sup> horse) 有益なる動物です。

7. 是れは良いペンですか。

8. 悪いペンです (bad <sup>バッド</sup> <sup>ペン</sup> pen).

9. 是は新らしい宮廷列車 (Imperial train) です。

10. あれは立派な回遊列車 (Excursion <sup>エキスカーション</sup> <sup>トレイン</sup> train) です。

## Lesson IV (第四課)

カインド (親切ナル) <sup>コールド</sup> cold (寒キ) <sup>オールド</sup> old (老イタル)

クワイト (充分、中々、全ク) <sup>ヴェリ</sup> ver'y (甚だ) <sup>ブラインド</sup> blind (盲目なる)

ヘー (彼男) <sup>シェー</sup> shē (彼女) <sup>オフィシャル</sup> official (役員)

1

That old passenger is blind.The station-official is kind to the blind passenger.

2

Is the station-master old? No, he is quite-young.Is your father old? Yes, he is very old.

3

Is this train new? Yes, it is quite new.Is the boiler <sup>ホット</sup>hot? Yes, it is very hot.

## 和 譯

1

あの老ひたる旅客は盲目です。

(アノ)驛員は盲目の旅客に對して親切です。

2

驛長は年を老つて居ますか。

イ。エ。彼の方は全く若いです。

貴下の御父サンは年を老つて居ますか。

エー。大分年を老つて居ます。

3

此列車は新しいですか。

左様です全く新しいです。

汽罐は熱いですか。

左様です大層熱いです。

## Grammar (文法)

此前の學課(第八課)と此學課とを較べて御覽なさい。形容詞の用法に二種あるとが解りませう。即ち

## (1) 名詞ノ前ニ附ク

He is a good man.She is a kind woman.

## (2) 名詞ノ後ニ“Is”ノ如キ語ヲ挟ミテ用フ

The old man is blind.The official is kind.

(注意)(a) 斯く二通りの用法がありますが、第二の用法を普通用ひない場合が度々あります。それは別に文法上の理由はありませんが習慣上用ひないので。例へば

“This is a good engine”と云ふのが普通で“This engine is good”とは云ひません 又た日本語で「驛長の髭は長い」と云ふの其通り譯して“The beards of the station-master is long”と云ふてはいけません “The station-master has long beards”と譯すべきです。

(b) 形容詞の第一の用法には冠詞を其前に付けます。

“a good man” “The old woman” の類です。第二の用法の場合には形容詞の方には冠詞は付けません

## Exercise (9)

<sup>インテレストィンク</sup> <sup>オーズイ</sup> <sup>ディファイカルト</sup>  
 In'téresting (面白イ) éag'y (容易イ) dif'ficult (六ケ敷イ)  
<sup>ストロンク</sup> <sup>ワイーク</sup> <sup>アイドル</sup> <sup>バット</sup>  
 strong (強キ) weak (弱イ) idle (怠惰) but (然シ、ケレドモ)

例 1. 此本は六ケ敷いですか。

Is this book difficult?

2. 此本は六ケ敷けれ共面白い。

This book is difficult, but interesting.

3. 此切符は無効 (invalid) です。

This ticket is invalid.

4. 此切符は二日間 (for two days) は通用 (good for 或ハ holds good) しません。

This ticket is not good for two days.

5. 此切符は神奈川停車場マデ (for) 有効 (good) です。

This ticket is good for the Kanagawa-station.

## 和文英譯

1. 此本は容易で (and) 面白い。

2. 私の父は老ひて弱い。

3. 汝の母 (Mother) は老ひても (but) 強い。

4. 此犬は良ひ犬です。

5. 私の兄弟 (brother) は怠惰です。

6. 此密柑は甘い (sweet) ですか。
7. イーエ. 其密柑は酸い (sour) です。
8. 私の切符は無効ですか。
9. 其切符で鶴見までは (for Tsurumi) 有効 (good) です。
10. 此嵐車は上りですか下りですか (up or down).

## Lesson X (第十課)

<sup>エイブル</sup> <sup>ハタラキのある</sup> <sup>アダミー</sup>  
 able (能のある, ハタラキのある) ug'ly (醜い)  
<sup>スコラー</sup> <sup>フレンド</sup>  
 schol'ar (學者) friend (朋友)

## 1

Is your friend a good engineer?

Yes, he is an able man.

Is he an old man?

No, he is quite a young man.

## 2

Is your brother a good scholar?

No, he is not a very good scholar.

Is he a diligent man?

No, he is an id'le man.

## (和 譯)

1

君の友人は良い技師ですか。

エー。彼は能のある人です。

2

君の兄弟は良い學者(良く學問が出来る人)ですか。

イーエ。餘り良く出来ません(甚だ良い學者ではあらぬ)

彼は勤勉な人ですか。

イーエ。怠け者<sup>フェロウ</sup>(fellow)です。

## Grammar (文法)

“a”と云ふ冠詞が形容詞の前に付く場合に其形容詞が母音で始まつて居る時は“a”は“an”となります。丁度母音で始まる名詞に付く時“an”となるのと同じです。

an	inkstand	pretty	inkstand
an	apple	a	big apple
a	man	an	able man
a	book	an	easy book

## Exercise (10)

1. あの男は怠け者です (idle fellow)

The porter is an idle fellow.

2. 私の父は老人です。

My father is an old man.

3. 是れは容易い本です。

This is an easy book.

4. 彼女は醜婦です。

She is an ugly woman.

5. 總裁は働きのある人です。

The President is an able man.

汝は……が好きか Do you like ……?

私は……が好きだ I like…….

6. 貴下は六ヶ敷本が好きですか。

Do you like a difficult book?

7. 私は面白い本が好きです。

I like an interesting book.

## 和 文 英 譯

1. 私は面白い本を持って居ます。  
 2. 彼の父は老いて居る (He has — ).  
 3. 私は面白くて容易い本が好きだ。  
 4. 君の教師 (Your <sup>ユア</sup> teacher) は學者ですか。

5. エー、仲々能のある人です (able man).

Lesson XI (第十一課)

レビュー  
Review. (複習)

I Grammar (文法)

- (1) "station" "ticket" "train" "table" 等の如き物の名を何と曰ふか。
- (2) "a" "an" "the" は何處に置く語か。又其各稱を問ふ。
- (3) "a" 或は "an" を何と稱し如何なる意味を有するか。
- (4) "The" を何と稱し如何なる意味を有するか。
- (4) 名詞の冠詞を要せざる場合を問ふ。
- (6) "good" "kind" "large" "able" 等の語の名稱及用法を述べよ。
- (7) 形容詞の二種の用法を説明せよ。
- (8) 前置詞とは如何なる語なりや其例四個を挙げよ。
- (9) "and" "or" "but" の用法及名稱を問ふ。

トランスレイション  
Translation (和譯)

- (1) 是は大きな停車場です。
- (2) 是れは三等切符です。
- (3) ソレハ學生定期切符 (The students' <sup>ザ スチューデントス</sup> season <sup>シーズン</sup> ticket)

です。

- (4) 是れは急行列車 (an <sup>エクスプレス</sup> express) ですか。
- (5) アノ建物は帝國ホテル (The <sup>イムペリアル</sup> Imperial <sup>ホテル</sup> Hotel) ですか。
- (6) 是は客車ですか或は (or) <sup>カー</sup> 貨車ですか。
- (7) 驛長は帽子と杖を持つて居る。
- (8) 壁に時間表と貨錢表とが (and) 懸つて居ります。
- (9) 小荷物引渡所は何處ですか。
- (10) 是は神戸行 (for Kobe) の客車です。

Lesson XII (第十二課)

1

Have you a ticket?      Yes, I have (a ticket).

Have you a check?      Yes, I have (a check).

Have you a trunk?      No, I have no trunk.

Have you a knife?      No, I have no knife.

2

Have you a pen?      Yes, but I have no ink.

Have you my book?      No, I haven't your book.

I have a ticket and a check.

You have a trunk and a bicycle.

## 和 譯

## 1

汝は切符を御持ちですか。	ハイ、持て居ます。
汝は合札を御持ちですか。	ハイ、持て居ます。
汝は靴を御持ちですか。	イーエ、持ちません。
汝は小刀を御持ちですか。	イーエ、持ちません。

## 2

汝はペンを御持ちですか。	ハイ、持つて居ます。だが (but) インキは有りません。
汝は私の本を御持ですか。	イーエ、汝の本は持つて居ません。

汝は切符と合札どを持つて居ます。

汝は靴と自転車どを持つて居ます。

## Grammar (文法)

(1) <sup>ノット</sup>“Not” は「……ニ非ズ」の意味で普通動詞に付けます。

This is not your ticket. 是は汝の切符に非ず。

I have not your ticket. 私は汝の切符を持たぬ。

“No” は「——が無い」の意味で直接名詞に付ける。

I have no ticket. 私は切符が無い。

(注意) “No” を用ゐる時は決して冠詞を付けません。だから “No” は <sup>ノット</sup>“Not a” 或は “Not any” の縮まつた形として文法では説明します故に “I have no book は I have not any book”. であつて又 “There is no book” は “There is not a book” と同じ意味です。英語では常に “No” を名詞に付けて使います。

(2) “I” と云ふ語は文中何れの場處にあつても必ず(大宇) “Capital” で書かなくてははいけません。

(3) 二語を “and” で接続する時は「コンマ」(,) “Comma” を要しません。

I have a book and a pen.

(注意) 若し三語以上連続する時には「コンマ」を付けて最後の語の後に “and” を置きます。

You have a book, a pencil, and a knife.

## Exercise.

スーズン チケット トー タイク ミーロ  
season ticket (定期乗車券) to take meal (食事ヲ爲ス)

ウォッシュ フェイス ウォーター クロセット  
wash (洗フ) face (顔) water closet (便所)

1. 私は定期乗車券を持て居ます。

I have a season ticket.

2. 私は大坂迄の三等切符を持つて居ます。

I have a third class ticket for Osaka.

3. 汝は一等切符を御持ちですか。

エー. 持つて居ます。

Have you the first class ticket?

Yes, I have it, <sup>スアー</sup> sir.

(注意) “sir” は君 貴下 足下の類にて男子に対する尊敬辭。

4. 食事をする時間がありますか。

Have I time for <sup>フューア タイキング</sup> taking meal?

5. 顔を御洗になる時間があります (have time).

You have time to wash your face.

(注意) 日本語で「時間ガアル」と云ふ時英語にて “have time” と云ふ。思想の發表法の違ふとに注意なさい

6. 便所へ行く時間がありますか。

Have I time to go to the water-closet?

(注意) 併しながら普通一般では上の如く申しませんで

<sup>ワッシュマイ ハンズ</sup> “wash my hands” 即ち手が洗いたいと云ふ、であ

るから「便所に行たい」と云ふには <sup>アイ ワナント トウ</sup> “I want to

<sup>ワッシュマイ ハンズ</sup> wash my hands” と成ります。又便所に “W. C.”

と書いてあるのは water closet の頭字を取つたものです。

7. 今日 (to-day) は祭日 (National Holiday) ですから

<sup>ワイ ハヴ マネイ パッセンジャーズ</sup> 乗客が多い (we have many passengers).

To-day is the National Holiday and we have many passengers.

8. <sup>プリーズ</sup> ドーン (please) 汝の切符を見せて下さい (<sup>シヨウミー</sup> show me).

<sup>プリーズ シヨウミー ユーアー ティケット</sup> Please show me your ticket.

9. 未だ (yet) 切符を買い (<sup>ハヴ ゴット</sup> have got) ません。

I haven't got my ticket yet.

10. 汝の御荷物 (<sup>パッケージ</sup> package) は幾つ (how many) ですか。

How many packages have you?

11. 鞆が二ツ有りますが神戸迄 (to) 預つて (check) 下さい

I have two trunks, check them to Kobe.

12. 鞆の中に何か課税 (<sup>デューティアブル</sup> dutiable) 品はありませんか。

Have you anything dutiable in your trunks?

何れ後になつて説明しますが英語では “have” と云ふ語を用ゐる場合が仲々多くて、日本語で「待つ」とか「有る」とか決して言はぬ場合にも用ゐます。次に擧げた例

は日常尤も普通に用ふるのですから讀者は注意して覚えなければいけません。

1. 私は頭痛がします (to have head-ache).  
I have the head-ache.
2. 私は風を引いた (風を引く to take cold).  
I have taken cold.
3. 私は爲る事が澤山ある (-have many things to.....).  
I have many things to do.
4. 汝に話す事が澤山ある。  
I have many things to tell you.
5. 今年 (This year) は雪 (snow) が澤山降る (we have much-).  
We have much snow this year.
6. 時刻がもう (already) 大層遅れて (very late) 居りますから猶豫してはいけません (You have no time to spare).  
You have no time to spare, as it is very late already.
7. 上り列車はドウしました (what has become of).  
what has become of the up-trains?
8. 汝は何處に行つて居ました (have been) か。  
Where have you been?

9. 父に電報を打つ (to send a telegram) 爲めに電信局へ行つて居ました。  
I have been to the Telegraph Office, to send a telegram to my father.
  10. 私は電報を打ち度い (want).  
I want you to check the amount (as postal money order).
  11. 郵便爲替 (postal money order) を願ひます (want).  
I want to have a postal cheque.
  12. 爲替料は何程です。  
What amount have I to pay.
- (注意) have to は「ネバナラヌ」の意味です。
13. { I have to write a letter 手紙を書かねばならぬ。  
I have a letter to post 投函する手紙がある。
  14. 郵便爲替証 (postal money order) を持つて居ますドウか  
金と取換て (cash) 下さい。  
I have a postal money order, please cash it.
  15. { I have found it. (ソレヲ) 見付けました。  
I have done it (ソレヲ) 爲て仕舞つた。
  16. 汝は書翰箋とペンとインクとがありますか。  
Have you any letter-paper, pens and ink?



(注意) 有無を問ふ時は普通 “any” を用ふ。

17. 封筒を御持ちですか。

Have you any <sup>エンヴェロプス</sup> envelopes?

18. 彼は余り喋り過ぎる (talking too much) 癖がある (have or has a habit).

He has a <sup>ハビット</sup> habit of talking too much.

19. 私は切符を失つた (have lost).

I have lost my ticket.

20. 私は切符を何處かに置き忘れた (have mislaid).

I have mislaid my ticket.

21. 私は紙幣で (in bank notes) 二圓、銀貨で (in silver)

一圓持つて居ます。

I have two yen in bank notes and one yen <sup>インシルヴァー</sup> in silver.

Lesson XIII (第十三課)

1

I have an <sup>エルダー ブラザー</sup> elder brother.

You have a <sup>ヤンガー シスター</sup> younger sister.

He has a <sup>ア ファーザー</sup> father, but no <sup>マザー</sup> mother.

She has a mother, but no father.

3

We have a <sup>グッド ティーチャー</sup> good teacher.

They have a <sup>カインド</sup> kind father.

4

That man (=he) has a <sup>ア リッチ アンクル</sup> rich uncle.

That <sup>ガール</sup> girl (=she) has a <sup>アUNT</sup> kind aunt.

The boys (they) have a good teacher.

The girls (they) have a kind mother.

和 譯

1

私は一人の兄があります。

汝は一人の妹があります。

2

彼は父はあるけれども母はありません。

彼女は母はありますが父はありません。

3

彼等は良き教師を持つて居ます。

彼等は親切な父があります。

## 4

彼は富んだ伯父があります。

彼女兒は親切な伯母があります。

あの男兒等は良い教師を持て居ます。

あの女兒等は親切な母を持つて居ます。

## Grammar (文法)

(1) “have” は其主格 “he” “she” “it” 其は是に相當する場合には “has” に變ず。

(説明) 初めて英語を學ぶ者にとつて常に不思議などは “have” も “has” も常に同一意義に譯されるとである。

フーして此形の違つた二つの語が同じ意味かと云とは今文法の規則で云ふた様に主格に依て其形が變つたのです。

(2) “I” “you” “we” “he” “she” “it” “they” 等は名詞を代表するものなるを以て代名詞 (Pro'noun) と曰ふ。

## 代名詞

(説明) 語話を爲て居る自分 (I) 自分等 (we) は第一人稱 (First Person) 談話の相手となつて居る汝 (you) 汝等 (you 單數複數全形) は第三人稱 (second person)

其他彼 (he) 彼女 (she) 其も (it) 及是等の複數 (they) は皆第三人稱 (Third Person) と云ひます。だから第一、二人稱を除けば皆第三人稱です。又各人稱に單數 (singular) と複數 (plural) とがあります。

今、have の用法を表で示ませう。

人 稱	單 數	複 數
第一人稱	I have	We have
第二人稱	You have	You have
第三人稱	(男性 He) (女性 She) (無性 It)	has They have

(注意) 上に掲げた學課の英文を読めば讀者は茲にまた have の語が日本語と違つた慣用法のあるとに氣が付くでせ

例へば

{ 私は父がある……… I have a father.  
 { 汝は兄弟がある……… You have a brother.

と云ふのである。また

{ 鳥には翼がある……… The bird has wings.  
 { 此箱には蓋がある……… This box has a lid.  
 { 此魚には悪臭がある……… This fish has a bad smell.

等日本語と英語と其思想の表はし方の異なる所に注意しなければなりません。

## Exercise

ドクター	ヤンガー	ヤンガーシスター
daughter (daw'ter 娘)	younger (若き)	younger sister (妹)
テイスト	ナイス	スメル
tāste (味)	nice (甘い, 良い)	smell (臭)
カズン	ネフュー	ニース
cousen (従兄弟)	nephew (甥)	niece (姪)
		ハズバンド
		husband (夫)

1. 汝は兄弟がありますか。  
Have you a brother?
2. エー, 兄が一人と妹が一人あります。  
Yes, I have an elder brother and a younger sister.
3. 姉妹がありますか。  
Have you a sister?
4. イーエ. 一人もありません。  
No, I have no sister.
5. 彼に娘がありますか。  
Has he a daughter?
6. イーエ. 娘はありませんが息子が二人あります。  
No, he has no daughter, but two sons.
7. 彼の父は大層金持です。  
He has a rich father.

8. 此蜜柑は味が悪い。  
This orange has a bad taste.
9. 此林檎は味が良い (nice).  
This apple has a nice taste.
10. 此罐詰の牛肉 (canned beef) は香が悪い。  
This canned beef has a bad smell.
11. 汝の教師は良い教師ですか。  
Have you a good teacher?
12. 僕等の驛長は良い人です。  
We have a good station master.
13. 彼は伯父か伯母かありますか。  
Has he an uncle or an aunt.
14. 伯父は無いが伯母があります。  
He has no uncle, but an aunt.
15. 總裁は立派な馬車 (carriage) を持つて居ます。  
The President has a fine carriage.
16. 君の父は馬がありますか。  
Has your father a horse?
17. 私は貧乏な従兄弟 (cousen) がある。  
I have a poor cousen.
18. 彼は貧乏な甥 (nephew) と富んだ姪 (niece) がある。

He has a poor nephew and a rich niece.

19. 彼女の夫 (husband) は節儉 (frugal) だ。

She has a frugal husband.

(注意) 此者は上に挙げたる例に則り 次の單語を挿入して

- (1) 各自練習すべし、例へば “family” を入れて。
- He has a large family. (彼の家は大家族だ)。
- family (家族) grandfather (祖父) grandmother (祖母)
- great-grandfather (曾祖父) Father-in-law (舅)
- Step-mother (繼母) Foster-father (養父) youngest son (末子)
- step-son (繼子) son-in-law (婿) Heir (嗣子)
- Heiress (嗣女) Legitimate (嫡子) Illegitimate son (庶子)
- grand-son (孫) Bride (花嫁) Bridegroom (花婿)
- (2) 例題 8, 9, 10 に則り 次の單語を用ひて練習せよ。
- plum (梅) peach (桃) persimmon (柿) walnut (胡桃)
- Pine apple (鳳梨) Fig (無花果) Lemon (レモン)
- Arrow-head (慈姑) Welsh onion (葱) Potato (ジャガイモ)
- Cucumber (胡瓜) Water-melon (水瓜) Pumpkin 或は
- squash (南瓜) Egg-plant, (茄子)

## Lesson XIV (第拾四課)

her (彼ノ女ノ) or (我等ノ) Their (彼等ノ)

Park (公園) upstairs (二階) baby (赤兒)

basket (籠) pocket (カクシ) arm (腕) hand (手)

back (脊) shoulder (肩)

1

I have a third-class ticket.

My ticket is red.

2

You have a second-class ticket.

Your ticket is blue.

3

He has the first class ticket.

His ticket is white.

4

She has a good son.

Her son is in the University.

5

We have a kind teacher.

Our teacher is a good scholar.

6

They have a <sup>スキルフル フォーマン</sup> skilful foreman.

Their foreman is a <sup>フェイスフル</sup> faithful man.

(譯 和)

1

私は 三等切符を持て居ます。

私の 切符は赤いです。

2

汝は 二等切符を持つて居ます。

汝の 切符は青いです。

3

彼は 一等切符を持つて居ます。

彼の 切符は白いです。

4

彼女は 良い息子があります。

彼女の 息子は大學に居ます。

5

我等は 親切な教師があります。

彼等の 教師は學者です。

6

彼等は 熟練な職工長があります。

彼等の 職工長は忠實なんです。

## Grammar (文法)

1. 所有代名詞 “My,” “your,” “our” “his,” “her,” “their” 等の語を代名詞と曰ふ。

(説明) 是等の言葉は代名詞ではありませんが、“my book”(私の本) your <sup>ナイフ</sup> “knife”(汝の小刀)と云ふ様に名詞に付いて其所有を表はしますから所有代名詞と云ふのです。

2. 名詞の前に所有代名詞を置く時は冠詞を要せず。

This is my book.

That is your knife.

(注意) 次の表に據れば代名詞の主格と所有格とがよく判ります。

人 稱	單 數		複 數	
	主格	所有格	主格	所有格
第一人稱	I	my	we	our
第二人稱	you	your	you	your
第三人稱	男性	he	his	they
	女性	she	her	
	無性	it	its	

(注意) 複數には男性、女性、無性等性の區別はありません。

單數と複數の文法的説明は後に爲ます

1. 僕の家は日比谷公園の近くです。

My house is <sup>ニア</sup>near the <sup>ロビヤ</sup>Hibiya <sup>パーク</sup>park.

2. 彼の部屋は二階だ。

His <sup>ルーム</sup>room is upstairs.

3. 君の部屋は大層綺麗だ。

Your room is very nice.

4. 僕等の教師は亞米利加人 (American) です。

Our teacher is an <sup>アメリカン</sup>American.

5. 彼等の教師は英國人 (Englishman) です。

Their teacher is an <sup>イングリッシュマン</sup>Englishman.

6. 汝等の教師は日本人ですか外國人ですか。

Is your teacher a <sup>ジャパニーズ</sup>Japanese or a <sup>フチリナー</sup>foreigner?

(注意) <sup>ジャパン</sup>Japan (日本國) Japanese (日本語) the Japanese

(日本人)……となるので即ち <sup>チャイナ</sup>China (支那) <sup>チャイニーズ</sup>Chinese

(支那語) The Chinese (支那人)……となるの類です。

7. あなたの伯父様は息子がいますか。

Has your uncle a son?

英語では日本語よりも所有代名詞を用ふる場合が多いです。だ

から日本語では當然略すべき場合に皆一々所有代名詞を用ひます。例へば日本語で「私は杖を持って居ます」と云ふ時に英語では「私は 私の 手に杖を持って居る」と云ふ様に決して所有代名詞を略しません。

次の四五の例を御覽なさい。

8. 彼は手に杖を持って居る。

He has a cane in his hand.

9. 貴下は カクシに鉛筆を入れて居る。

You have a <sup>ペンシル</sup>pencil in your <sup>ポケット</sup>pocket.

10. 驛夫が荷物を背負ふて居る。

The porter has a package on his <sup>バック</sup>back.

11. 其乗客は 腕に鞆を掛けて居る。

That passenger has a trunk on his <sup>アーム</sup>arm.

12. あなたは カクシに物を入れて居ますか。

What have you got in your pocket?

本を入れて居ます。

I have got a book in my pocket.

(注意) “I have” と “I have got” とは意味は同じです。

13. あの女は何か背負つて居ますか。

What has that woman on her back?

14. 袋を背負つて居ます。

She has got a bag on her back.

(注意) 日本語の「抱いて居る」は “have in one's <sup>アームズ</sup> (=my, your, his, her, their) arms” と云ひます例へば

15. 彼女は赤兒を抱いて居る。

She has a baby in her arms.

16. 彼は鞆を肩に擔いで居ます。

He has a trunk on his shoulder.

17. 次の例を日本文に譯せ。

I have an <sup>インテレスティング</sup> interesting book in my pocket.

He has a heavy <sup>ヘビー ラグゲージ</sup> luggage on his back.

What has the <sup>ジェントルマン</sup> gentleman on his shoulder?

The mother has the baby in her arms.

The woman has a <sup>バック</sup> basket in her arms.

18. 次の例は Choice Reader I の第二十三課です解ひて御覽なさい。

1. Who are you? (註解) <sup>フー</sup> who (誰)

I am a <sup>ビッグ</sup> big boy.

2. What is your <sup>ネーム</sup> name? name(名前)

My name is Frank. Frank (人名) 人の名は Capitalにて書き始む。

3. Who are you?

I am a little girl.

4. What is your name?

My name is Kate. Kate (人の名)

5. Who is this girl?

This is my sister.

6. What is her name?

Her name is May. May (人の名)

7. Who is that boy?

That is my brother.

His name is Ned. Ned (人の名)

Lesson XV (第拾五課)

<sup>マイン</sup> mine (私ノモノ)	<sup>ユアーズ</sup> Yours (汝ノモノ)	<sup>フーズ</sup> Whose (誰ノ)
<sup>ザツ</sup> that's (=that is)	<sup>ドント</sup> don't (=do not)	<sup>ハット</sup> hat (帽子)

1

Isn't this your ticket?

No, that isn't mine (=my ticket).

Isn't that my ticket?

Yes, it is yours (=Your ticket).

是は汝の切符ではありませんか。

イーエ. それは私のちやありません。

それは私の切符ちやありませんか。

エー. それは汝のです。

## 2

Whose book is this?

That's mine.

Where is my book?

I don't know where it is.

Whose book is that?

I don't know whom it is.

是は誰の本ですか。

それは私のです。

私の本は何處にありますか。

何處にあるか私は知りません。

それは誰の本です。

誰の本か私は知りません。

## Grammar (文法)

(1) "my", "your" の次に來るべき名詞を省略する時は

"mine", "yours" を用ふ。

(説明) This is my ticket = This ticket is mine.

Is this your book = Is this book yours?

即ち所有代名詞と名詞とか一體になつたのですから先きに名詞が無くては何だか少しも解りません。次はチョーイス第一讀本の第五十四課の例です。是を見れば "<sup>マイン</sup>mine" と "<sup>ユーアーズ</sup>yours" の用法が能く解ります。

1. Do you see your book?

汝は 汝の本 を見ますか。

Yes, I see my book.

エー. 私は 私の本 を見ます。

Yes, I see mine.

エー. 私は 私の本 を見ます。

2. Do you like my paper?

汝は 私の紙 を御好みですか。

Yes, I like your paper.

エー. 私は 汝の紙 を好みます。

Yes, I like yours.

エー. 私は 汝の が好きです。

3. Is this your ink?

是は汝のインキですか。

No, this is not mine.

イーエ. 私のではありません。

This is yours.

此れは貴下のです。

4. Are they my books?

アレ等は私の本ですか。

Yes, they are yours.

ソーテス. 汝のです。

They are not mine.

アレ等は私のではありません。

(2) "what?" "where?" "whose?" 等の疑問詞が "know"

の如き動詞の次に來るときは其後に來る主格と動詞との位置は普通の順序に復す。

(説明) 疑問詞は普通文章の始めに置きます。而して動詞は



主格の前に出る “what is it?” の様に、併動詞の次に疑問詞の來るときは其次の主格の後に動詞が來るのです “I don't know what it is.” の様です。

what	} is it?	I don't know	} it is.
where			
whose			

## Exercise

1. 是は汝の手荷物ではありませんか。

Isn't this your luggage?

2. イーエ、私のヂヤありません。

No, that isn't mine (=my luggage).

3. 此の靴はどなたのですか。

Whose trunk is this?

4. 誰のか私は知りません。

I don't know whose it is.

私のです。

That's mine.

5. 驛長は何處に御居で々すか。

Where is the station /master?

6. 何處に居るか知りません。

I don't know where he is.

7. 門に在るあの馬車は誰のですか。

Whose carriage <sup>ゲート</sup> is it at the gate?

8. あれは大隈伯 (Count Okuma) のです

That is Count Okuma.

(注意) “S” も名詞を省く時に用ひます例へば。

Is this your inkstand, Frank?

No, this is not mine. This is Ann's.

9. 是れは貴下の字書ではありませんか。

Isn't this your dictionary?

10. イーエ、僕のはありません。田中君のです。

No, that is not mine. That's Mr. <sup>タナカ</sup> Tanaka's.

(注意) “Mr.” は “mister” の略字であつて日本語の君 様 殿と同じ。

## Lesson XVI (第拾六課)

## 1

Which is your book?

Mine is that one.

Which is my book?

I think this one is yours.

## 2

Which is your hat?

Mine is the one on the table.

Which hat is mine?

Yours is the one on the floor.

## 3

Have you a pen?

Yes, I have a very good one (a pen).

Is this a good pen?

No, it is not a very good one.

## 和 文

## 1

汝の本はどれ (which) ですか (which は ドチラの意)。

私のは (mine) ソレ (that) です。

どれ (which) が僕の本ですか。

汝のは (yours) コレ (this) だらうと思ひます (I think)。

## 2

汝の帽子 (hat) はどれですか。

私のは (mine) 其テーブルの上に在る (on the table) のです。

ドチラの (which) 帽子が僕のですか。

汝のは (yours) ユカの上に在る (on the floor) ノテ (the one) ず。

## 3

汝はペンを御持ちですか。

エー。大層 (very) 良いの (good one) を持て居ます (I have)

是は好いペンですか。

イーエ。ソレハ (it) 餘り (very) 良いの (good one) ではありません。

(注意) “very” は普通「大層」とか「甚だ」と譯します。例へば “The dog run very fast” の類です。

## Grammar (文法)

(1) “That” “this” “the” 其他形容詞ノ次ニ來ルベキ名詞を省カントフル時ハ其名詞ノ代リニ “one” ヲ用フ。

(説明) 前既に “my book” “your ticket” と云ふ場合に其名詞を略す時は “mine” “yours” 等となる事を教えました。今度のはそれと少し違ふて。一度先きに云はれた名詞を更に繰り返して “that book” “the ticket” 等と云ふ場合に其名詞の代に “one” を用ゐて “that one” 又は “the one” と云ふのです。

{ This knife is my knife.

{ This one is mine.

{ The book on the table is your book.

{ The one on the table is yours.

となるのです。ですから

(2) “one” ハーツノ文中ニ於テ同シ名詞ノ重複スルヲ避ケン爲メニ用フ。

(説明) 是れは何も英語に特別な例では無くて吾人は日常日本語でも矢張同じ法則に依て語つて居るのです。「アナタの帽子は良いの(ヤツ)です」此場合の「ノ」或は「ヤツ」は帽子と云ふ名詞を繰り返す代りに用ゐたので英語で“Your hat is a good one”と云ふて“one”を名詞(hat)を繰返す代りに用ゐたのです。

### Exercise

1. 次の例は色々の讀本にある例です(チヨーイス第一讀本 Lesson XLIV) 上に説明した“one”が使つてあります。

(a) Here we are by the pond. Ned, your ship is a very nice one. (註)茲の“one”は“ship”と云ふ名詞の代りに用ゐたので“Ned, your ship is a very nice ship”と云ふべきのです。

(b) May I take it? Yes, you may. Do not hurt it.

(c) Will it sail fast, Ned?

Yes, Ann, it will sail very fast.

(d) Mamma', may I have a ship, too?

Yes, I will get a nice one for you. (註)茲所の“one”

も“ship”の代りに用ゐたのです。

### 和 譯

(a) 茲に (here) 私共が池の傍 (by the pond) に居ります。  
Ned サン, アナタの舟は大層良い nice は「結構な」「美しい」等色々な意味あり)ののです。

(b) 私がそれを持つていつて (take) イです (may) か。  
エー、よろしい。

“may” は何々を仕て宜い、悪い、許可に用ゐる語です。

{ May I read the book? 私、本を讀んでも宜う御座いますか。  
{ Yes, you may (read it). ハイ、宜しい。

それを壊す (hurt は痛める 損じるの意味 get hurt は怪我をする)な。

(c) ソレは早く (fast) 帆走る (sail) でせう (will) か Ned さん。

エー, Ann (人名) 大層早く帆走るでせう。

(d) ね母サン (mamma' 普通子供の使ふ言葉, 母親は mother) 私にも舟を下さいますか。〔註〕 may I have a ship? は「私モ舟を持ツテ好イアスカ」その字解なれど茲には上の如く解するをよします。

“too” は「矢張」或は「又」の意。

エー、お前に (for you) 良しのを (nice one) 買つて

(get) あげます (I will get) (註所 “I will” は意志或  
に決心を示す)

2. 此古い字書は君のですか。

Is this old <sup>ディクショナリー</sup> dictionary yours?

3. イーエ。僕の字書は極く (quite) 新シイノです (new one)

No, my dictionary is quite new one.

4. 君は金時計 (gold watch) を御持ちですか。

Have you a gold watch?

5. イーエ僕のは銀時計です。

No, mine is the silver one.

6. 戸 (door) の陰にある (behind) 杖は アナタ のではありませんか。

Isn't the cane behind the door yours?

7. イーエ。窓の傍にあるのが僕のです。

No, mine is the one by the window.

8. 今迄説明したる諸點により次の文法を知り得たるならん

(1) 代名詞は單數, 複數, 第一, 第二, 第三人稱に従ひて夫々類別さる。

注意 { I は常に大字にて書く。  
you は單數, 複數共に同形。  
he, she, it の三者共複數は they.

(2) 所有代名詞

(a) 名詞に附し形—my, your, our, his, her, its, their.

(b) 名詞を省く形—mine, yours, ours, his, hers, its, theirs.

This is { my  
your  
his  
her } knife = This knife is { mine  
yours  
his  
hers }

These are { our  
their } books = These books are { ours  
theirs }

(注意) “This is” は單數の形 “These are” は複數の形です  
其理は後に説明します。

(3) 名詞の前に附けて冠詞を省く言葉

(a) { this  
that  
what  
which } book (b) { my  
your  
his  
her  
their  
its } legs

(注意) “It” は定まれる物を指す時に } 用ふ  
“one”は定まらざる物を指す時に }

例へば

Have you my book? Yes, I have it (=your book)

Have you a book? Yes, I have one (=a book)

又 “One” は同じ名詞の重複を避けて次の如き場合に用ふるの

が普通です。

- (a) Which is your **knife**? The **one** on the table.  
 (b) This hat is a good **one**.  
 (c) I have a new **dictionary** and an old **one**.

### Lesson XVII (第拾七課)

スタヂヤント student (學生)    ソルヂヤー soldier (軍人)    ナース nurse (ウベ, 守, 看護婦)  
 ハズンド husband (夫)    pupil (生徒)

#### 1

I am a student.    私は學生です。  
 You are a teacher.    汝は教師です。  
 He is a soldier.    彼は軍人です。  
 She is a nurse.    彼女は乳母<sup>ウベ</sup>です。  
 It is a house.    ソレハ家です。

#### 2

I am your teacher.    私は汝の教師です。  
 You are my pupil.    汝は私の生徒です。  
 He is her husband.    彼は彼女の夫です。  
 She is his wife.    彼女は彼の妻です。  
 It is my house.    ソレは僕の家です。

#### 3

We are your teachers.    我等は諸君の教師です。  
 You are our pupils.    諸君は僕等の生徒です。  
 They are our parent.    彼等は我等の両親です。

#### 4

I like an apple.    私は林檎が好きだ。  
 You like an orange.    君は蜜柑が御好きだ。  
 He (or She) like a pear.    彼(或は彼女)は梨子が御好きだ。

#### 5

They like to play.    彼等は遊ぶのが好きだ。

### Grammar (文法)

動詞 “is, has, have, like, know” 等ノ如キ事物ノ動作又ハ状態ヲ表ハス語ヲ動詞ト曰フ。

動詞ハ主格ノ人稱、數ニ從ヒ其形ヲ變ズ。即チ其主格ガ第三人稱單數 (he, she, it) ナル時ハ其動詞ノ語尾に “s” ヲ加フ。

(説明) 初めて英語を學ぶものが第一番に出會ふ疑問は “am, are, is” の三語が常に「ある」とか「です」とか皆同じ意味に譯されるのに何故斯く形が變つて居るかと云ふとです。是は今茲で云つた様に動詞が人格と數とに依て變つたのです。大概な動詞は只第三人稱單數の場合

だけに“s”を付けるのですが“to be”と云ふ動詞各人稱に依て皆變つて誠に厄介な語です。併し是は最も普通に用ふる語ですから正確に覺わなければイケません。

I	am	we	} are
You	are	you	
he	} is	they	
she		it	
it			

(注意)

XIII (第十三課)の文

法に教へた“has”  
が人稱に依て變る  
のを参照すべし。

I	like	we	} like
You	like	you	
he	} likes	they	
she		it	
it			

大抵の動詞は斯の  
如く第三人稱單數  
文に“s”が付て變  
るのです。

Exercise

1. 汝は英語が大層上手 (very well) です。(英語では「汝は上手に英語を語る (speak) とが出来 (can)」と譯す。)

You can speak English very well.

2. 彼も亦 (too) 英語が仲々上手 (pretty well) です。

He speaks English pretty well.

3. 彼は帝國鐵道院總裁です。

He is the President of the Imperial Government Railways.

4. 東京は日本の首府 (Capital) です。

Tokyo is the Capital of Japan.

5. 東京、京都及大坂は日本の三大都會です。

Tokyo, Kyoto and Osaka are the three great cities in Japan.

6. 彼等は東京帝國大學の學生です。

They are the students of the <sup>トウキョウ</sup> Tokyo <sup>イムペリアル</sup> Imperial <sup>ユニヴァーシティ</sup> University.

7. 大隈伯は早稻田大學の創立者 (founder) 。

Count Okuma is the founder of the Waseda University.

8. 彼等は國務大臣です。

They are the <sup>ミニスターズ</sup> Ministers of <sup>ステート</sup> State.

9. 彼は逓信大臣です。

He is the Minister of <sup>コミュニケーション</sup> Communication.

(注意) 次の用語を此例によりて練習せよ。

<sup>ミニスター</sup> <sup>プレジデント</sup> <sup>オブ</sup> <sup>ステート</sup>  
Minister-President of State

内閣總理大臣

<sup>ミニスター</sup> <sup>オブ</sup> <sup>フォアレン</sup> <sup>ディパートメント</sup>  
Minister of the Foreign Department

外務大臣

<sup>ミニスター</sup> <sup>オブ</sup> <sup>ホーム</sup> <sup>ディパートメント</sup>  
Minister of the Home Department.

内務大臣

<sup>ミニスター</sup> <sup>オブ</sup> <sup>フィナン</sup> <sup>ディパートメント</sup>  
Minister of the Finance Department

大藏大臣

<sup>ミニスター</sup> <sup>オブ</sup> <sup>ディパートメント</sup> <sup>オブ</sup> <sup>ジャスティス</sup>  
Minister of the Department of Justice

司法大臣

<sup>ミニスター</sup> <sup>オブ</sup> <sup>エデュケーション</sup> <sup>ディパートメント</sup>  
Minister of the Educational Department

文部大臣

<sup>ミニスター</sup> <sup>オブ</sup> <sup>アグリカルチュラル</sup> <sup>アンド</sup> <sup>コンマール</sup> <sup>ディパートメント</sup>  
Minister of the Agricultural and Commercial Department

農商務大臣

<sup>ミニスター</sup> <sup>オブ</sup> <sup>イムペリアル</sup> <sup>ハウスホールド</sup> <sup>ディパートメント</sup>  
Minister of the Imperial Household Department

宮内大臣

<sup>ミニスター</sup> <sup>ラガ</sup> <sup>デパートメント</sup> <sup>ラガ</sup> <sup>ミラー</sup>  
 Minister of the Department of War 陸軍大臣  
<sup>ミニスター</sup> <sup>ラガ</sup> <sup>デパートメント</sup> <sup>ラガ</sup> <sup>ネーヴィ</sup>  
 Minister of the Department of Navy 海軍大臣

## 10. 次の例を譯讀せよ(チヨーイス第一讀本 XXI)

Do you see this little girl?

This little girl is Kato.

Kato is a good girl.

She has a little cat.

She likes her cat.

She likes play with her cat.

Her cat likes to play with her, too.

See Kato and her cat play.

(注意) 原本には女兒が猫と遊びつゝある繪あり。其繪に

て此學課は書かれたり。讀者其心にて讀め。

to play with her cat—彼女の猫と(with)遊ぶ。

Kato は人名。

## Lesson XVIII (第十八課)

<sup>アイ</sup> <sup>イヤ</sup> <sup>ノーズ</sup> <sup>マウス</sup>  
 eye(=i)(目) ear(耳) nose(鼻) mouth(口)  
<sup>オンリー</sup> <sup>ハウ</sup> <sup>マニー</sup> <sup>アベイラブル</sup>  
 only one(唯一つ) how many(幾つ) available(通用)  
<sup>ザ</sup> <sup>デー</sup> <sup>オブ</sup> <sup>イシュー</sup> <sup>ワント</sup> <sup>フィンガー</sup>  
 the day of issue(發行當日) want(欲スル) finger(指)

## 1

{ This is an eye. 是は目です(一眼).  
 { Man has two eyes. 人間は眼が二つある(has を持つ)

譯するは不可)。

{ This is an ear. 是は耳です(一耳).  
 { The horse has two ears. 馬は耳が二つある。

## 2

{ This is a hand. 是は手(雙手)です。  
 { Man has two hands 人間は手が二本ある。

{ This is a leg. 是は足(一本の)です。  
 { Man has two legs. 人間は足が二本ある。  
 { A dog has four legs. 犬は足が四本ある。

## 3

{ A boy has a book. 男の子が本を(一冊)持て居る。  
 { The boys have many books. 其男子等は澤山の本(複数)を持て居る。  
 { A girl has a pencil. 女の子が鉛筆を持て居ます。  
 { The girls have many pencils. 其女兒等は澤山鉛筆を持て居る。

## Grammar (文法)

1. 名詞の「數」(Number.) 名詞ニハ單數 (Sin'gular)  
 及ビ 複數 (Plu'ral) ノ形アリ。

(説明) 單數とは一個の物を表す形であつて複數とは二個以

上のものを表はす形です。日本語では「一冊の本」と云ふても「二冊の本」と云ふても「本」なる名詞の形は別に變りませんが、英語では復数を現す場合には、名詞それ自身の形が變るのです。けれど其形の變るにも矢張り文法上の法則があります。

復数の形を作る法

單數 = “S” 加フ。例へば

單數	復數	單數	復數
eye	eyes	boy	boys
ear	ears	girl	girls
leg	legs	dog	dogs
arm	arms	tree	trees

(注意) “s” を加へる外に二三の例外があります。混雜して覚え悪き故後に説明します。

【發音上之注意】

(一) 復數ノ “s” ハ清音ノ子音 “p, f, t, k” ノ次ニ在リテハ  
原來ノ音即チ「ス」ト發音ス。

map-s	lamp-s	cat-s	nest-s
step-s	book-s	rat-s	boat-s
ship-s	chicks	hat-s	plant-s

(二) 復數ノ “s” ハ次ノ場合ニハ “z” (ズ) ノ如ク發音ス。

(a) 濁音ノ子音 (b, v, g, d) ノ次ニ在ル時。

cab-g	leg-g	hand-g	song-g
twig-g	egg-g	bird-g	wing-g
flog-g	dog-g	thing-g	bud-g

(b) “m, n, l, r” ノ次ニ在ル時

father-g	finger-g	arm-g	lion-g
brother-g	daughter-g	hen-g	shell-g
sister-g	passenger-g	well-g	year-g

(c) 母音ノ次ニ在ルトキ

eye-g	mile-g	day-g	monkey-g
bee-g	hole-g	toy-g	pussy-g
tree-g	stone-g	boy-g	fox-g

(注意) 英語では二個以上の物を云ふには復数の形を用ひますから、日本語で復数の形を用ひない場合にも常に復数の形にするとを忘れてはなりません。

Exercise

次の練習中の數詞は第一號の第五編普通單語を参照するを便とす。

1. 汝<sup>アナタ</sup>は兄弟姉妹が澤山ありますか。  
Have you many brothers and sisters?
  2. 私は男兄弟が三人と女兄弟が誰一人 (only one) あります。  
I have three brothers and only one sister.
  3. 驛長は息子が三人と息女が三人あります。  
The station master has two sons and three daughters.
  4. 人間には腕が二本、手が二本、指が十本である。  
Man has two arms, two hands and ten fingers.
- (注意) “finger” は手の指で足指は “toe” です。



5. **How many brothers have you got?**

アナタは御兄弟が幾人御ありですか。

(注意) 数を問ふ時には「How many.....?」の形を用ひるのです。

6. アナタは姉妹が何人御在りですか。

How many sisters have you got?

7. 此切符は幾日間通用ひますか。

For how many days is this ticket available?

“for” は日本語の「間」です例へば

7. 通用は當日限りです (only).

It is available only for the day of issue.

(註) “The day of issue” (発行日) 例へば「発行日を入れて (including) 五日間です」と云ふ時は「For five days including the day of issue」.

8. 切符何枚御入用ですか。

How many tickets do you want?

9. 横浜行の三等切符を二枚下さい。

I want two third class tickets for Yokohama.

Give me two third class tickets for Yokohama.

(註) 日本語ノ「下さい」は英語では “give me” と云ふのが普通です上の “I want” は「私が入用です」の意:

10. 何分位茲所で待たねばなりませんか (ought to).

How many minutes ought I to wait here?

11. (a) 御荷物は御幾ツですか。  
How many luggages have you?

(b) 幾斤ありますか。  
How many **kin** do the luggages weigh?

12. 彼女は口が大きい。

That woman has a large mouth.

13. 勿論 (of course) 僕は口が一つしか無い。

I have only one mouth, of course.

14. 君は手が白い。

You have white hands.

15. 彼の男の子の両親は貧しい。

That boy has poor parent(s).

(註) “parent” は “s” が無しとも複数の意味に用ふ。

16. 彼の娘の鼻が大きい。

His daughter has a big nose.

17. 新橋と名古屋の間に停車場が幾つありますか。

How many stations are there between Shimbashi and Nagoya?

## Lesson XIX (第十九課)

1 (チヨース第五十七課)

tell (告<sup>テル</sup>グ<sup>ル</sup>・知<sup>ラス</sup>) time (時) clock (懸<sup>クロック</sup>時計)  
o'clock (時<sup>ジ</sup>) strike (持<sup>ストライク</sup>ツ) hands (時<sup>ハンズ</sup>計) again (再<sup>アゲイン</sup>ビ)

Here is a clock. 茲に時計があります(懐中時計はwatch).

Do you see the face of the clock? 君にあの時計の面(face)が見えますか。

Do you see the hands of the clock? 時計の針(hands)が見えますか。

(註) Do you see? は見えるか見え無いかを問くなり。

How many hands are there? 針が幾本ありますか。

(註) Is there? (單) Are there? (複)「…があるか」なり。

The clock tells time. 時計は時刻(time)を知らせ(tell)ます。

(註) tell-s の s は主格が三人稱單數なるを以て加へらる

Can you tell time? 時刻が君に解りますか。

(註) Can you tell? 「解りますか」又は「御知リデスカ」と解すべし。

故に道など尋ねて「四十番は何處か御承知ですか」と云ふ時に

「Can you tell me no. 40?」と云ふ如し。

What time is it now? 今(now)何時ですか。

Hear the clock strike. 時計の打つ(strike)のを御聞きなさい。

(註) strike は「打ツ」なり邦語でも十時を打ツた云々云ふと同一

Do you know what time it is now?

今何時か知つて居ますか。

Hear the clock strike again. 時計の再々(again)打つのを聞け。

One, two, three, four, five, six, seven, eight;

一 二 三 四 五 六 七 八

It is eight o'clock. 八時です。

(注意) 時間を云ふ時英語では常に “It” を用ふ例へば「丁度九時です」と云ふ “It is nine o'clock.” と云ふ

start (出發) does (ナス “do” の意味同シ) learn (學ぶ)

1. When do you get up? 君は何時に起き(get up)ますか。

I get up at half past six. 僕は六時半に起きます。

(註) 主格の前に “do” を出すは疑問体 “Do you…?” “Does he…?” 日本語の「六時半」を英語では「六時を過ぎる半」即 “half past six” と云ふ。

2. Do you go to school? 君は學校に行きますか。

Yes, I go to school. はい、私は學校に行きます。

(注意) “Do” の用法は文法的には後に説明しますが茲では質問の時は主格の前に出すものと記憶すべし。

3. When does your school begin? 君の學校は何時に始まりますか。

My school begins at nine o'clock. 私の學校は九時に(at)始まります。

(註) “Do” は三人稱單數現在の時 “does” となる。

“begins” の “s” も三人稱單數現在なれば附さたり。

1. When do you start for school?

何時に學校へ(for)出ます(start)か。

I start for school at eight.

九時に(at)学校へ(for)出かけます。

5. What do you learn at school?

学校で(at)何を御學ひ(learn)ですか。

At school I learn to spell, to read, to write, and to count.

学校で私は綴字, 讀方(to read)書方(write)計算(count)を習ひます。

註 “at” には色に意味があります邦語の「=」「で」等は普通 “at” ですか外に色々あります。

書方は “how to write” 讀方は “how to read” ですが茲の “to write” “to read” も同じ意味です。

6. When do you come home from school?

学校から (from) 何時頃御家に御歸りです (come home) か。

I come home from school at two.

私は二時に学校から家に歸ります。

7. When do you go to bed?

君は何時に寐 (go to bed) ますか。

(注意) “at” “to” “from” “for” 等は皆前置詞 (第七課の文法参照) です。

### Exercise

hour (一時間)    minute (min'it)    second (一秒)

year (一年)    month (=month 一月)    make (成ス)

Usually (通例)    work (=work 働ク)    just (恰モ丁度)

quarter (時計にては十五分四分ノ一)    in the morning (朝)

leave (出發)    in the evening (夕)

1. あなたは何時に御寐みですか。

{ At what time do you go to bed?  
{ When do you go to bed?

2. 通例. 十時半に寐ます。

I go to bed at half past ten usually.

(注意) 寐ましたは “went to bed” “went” は “go” の過去。

過去の形は後に説明す。

3. 我等は八時間 (for) 働ス。

We work for eight hours.

4. 今 (now) 丁度八時です。

It is just eight (o'clock) now.

5. 九時十五分 (quarter) 過です。

It is a quarter past nine (o'clock).

(註) “quarter” は「四分ノ一」にて十五分は一時間の四分ノ一故. 斯く云ふなり。

6. 十時廿分前 (to) です。

It is twenty (minutes) to ten.

(注意) 午前 forenoon (A. M. ante meridiem の略字)

午後 <sup>アフタヌーン</sup> afternoon (P. M. <sup>ポストメリディム</sup> Post meridiem の略字)

故に「午前九時」を 9. a. m. }  
「午後八時」を 8. p. m. } と書く。

英語の習慣で三十分迄は「何時何分過」と云ひ、三十分後は「何時に何分前」と云ふのです例へば、

三時二十分……20 minutes past 3.

三時五十分(即四時十分前) 10 minutes to 4.

7. 是れは神戸行(for)の電車ですか。

Is this the train for Kobe?

8. 横浜行の電車は直ぐ出ますか。

Will the train for Yokohama start soon?

9. 高崎行の電車は未だ出ませんか。

Has the train for Takasaki not yet started?

(注意) “will” の用法 “has—started” の如き用法は後に文法にて説明すべきも茲には類例として序に掲げたり。

10. 朝の一番電車は何時に出ますか。

When does the first train start in the morning?

11. 五時三十五分です。

{ at 5, 35.  
at 35 past 5.

12. 日光行の次の電車は何時に出ますか。

When does the next train leave for Nikko?

(註) “start” は「發スル」 “leave” は「離レル」の意味にて共に出發の意に用ひらる。

When does he { start }  
{ leave } for America?

13. 早く御出でなさい。電車は直ぐ(directly)出ます (going to start).

Step in quickly. The train is going to start directly.

(注意) 日本語の「2 と 2 は 4 になる」と云ふ英語では、

Two and two make four.

と云ふ以下の例は皆同じです

14. 六十秒が一分を成す。

Sixty seconds make a minute.

15. 六十分が一時間と成つて居る。

Sixty minutes make an hour. (= our 故に an を付く)

16. 二十四時間が一晝夜(a day)です。

Twenty-four hours make a day.

17. { 七日が一週間……Seven days make a week.  
三十日が一ヶ月……Thirty days make a month.  
十二ヶ月が一年……Twelve months make a year.

18. 三百六十五日が一年です。

Three hundred and sixty-five days make a year.

(注意) 百位と十位との間には “and” の語を入れる併し略し

て三百六十五を <sup>3</sup> <sup>6</sup> <sup>5</sup> とも云ふ。

## Lesson XX (第二十課)

faithful (忠實ナル)	dear (高價ナル)	nov'el (小説)
Useful (有益ナル)	cheap (安價ナル)	shoes (半靴)
proper (適當ナル)	gloves (手袋)	boots (長靴)

1

This (單數)	This is my book.	是は僕の本です。
These (複數)	These are your books.	是等は君の本です。
	Is this my book?	是は私の本ですか。
	Are these your books?	是等は君の本ですか。

2

That (單數)	What is that tall man?	あの丈の高い人は何ですか。
Those (複數)	That tall man is a teacher.	あの丈の高い人は教師です。
	What are those young men?	あの若い人等は何ですか。
	Those young men are students.	あの若い人等は學生です。

## Grammar (文法)

- 單數名詞ニハ "This," "That" ヲ用フ。  
複數名詞ニハ "These" "Those" ヲ用フ。
- 主格(名詞或ハ代名詞)ノ單數ナル時ハ "is" ヲ用ヒ。複數ナル時ハ "are" ヲ用フ。

3

This big animal is a dog.	此大きな動物は犬です。
That little bird is a sparrow.	此小さな鳥は雀です。

{These big animals are dogs. コレ等……犬です。  
{Those little birds are sparrows. ソレ等……雀です。

4

{Where is the dog? (ソノ)犬は何處に居るか。  
{It is in the garden. (ソレハ)庭に居ります。

{Where are the sparrows? (其)雀(復)は何處に居るか。  
{They are on the pine-tree. (彼等ハ)松の木に居ます。

## Grammar (文法)

- 單數名詞ニハ必ズ "a" (時として "an") 或ハ "the" ノ冠詞ヲ要ス。  
複數名詞ニハ "the" ヲ附スルカ或ハ全ク無冠詞ニ用フ。  
(注意) "a" 「一個」の意味なれば複數名詞に附けないは勿論です。

單 數	複 數
That animal is a dog	Where is the dog?
Those birds are sparrows	Where are the sparrows

- 或ル事物ノ階級一般ニ關シテ語ル時ニハ "The" 或ハ "a" ヲ付ケテ單數ノ形ニスルカ或ハ無冠詞ニテ複數ノ形ニスベシ。

(説明) 日本語で「馬ハ有益ナル動物ナリ」と云へは 其馬どは誰の馬、何處の馬とも制限したのではなく「馬ト云フ動物ハ」と云ふ 馬全体の階級を指して居るのです 或は「犬ハ忠實ナ獸デス」と云ふも同じく 其犬は犬全体を指しなのです。そこ

で英語で之を表はすには單數にして冠詞 (a, the) を付けるか複數にして無冠詞にするか二通りの方法があります。

犬ハ忠實ナル獸ナリ	
單	The dog is a faithful animal. (犬ト云フモノハ)
	A dog is a faithful animal. (ドノ犬デモ)
	複 Dogs are faithful animals (犬ハ皆)

The dog の the は階級全体を現はす。  
 註 a dog の a は any の意にて a は one の意味に非ず  
 dogs は all dogs の意

(注意) 此全体を現はす場合には決して "The dogs" の形は用ひません。

### Exercise

(單)	There is a book	本がある
(複)	There are books	本がある

日本語では「何々がある」と云ふ時に單數も複數も差別がありませんが英語では斯の様に違つて居りますから、英譯する時は十分注意しなければいけません。"There is" は「がある」と云ふとで決して「其所にある」等の「そこ」の意味はありませんだから

「本が其處にあります」は

There is a book there と云ふのです。

1. 棚の上にあるあの綺麗な本(複)は何ですか。

What are **those** pretty books on the shelf?

2. 小説です。註 (此を丁寧に云へば (a) の様にも云へます)

{ (a) Those pretty books are novels.  
 (b) They are novels.

3. 此小説(複)は面白ひですか。

Are these novels interesting?

4. 此等の學生は大層勉強です。

These students are very diligent.

5. 馬は大層有益な動物です。

(a) **The** horse is a very useful animal.

(b) **A** horse is a very useful animal.

(c) **Horses** are very useful animals.

6. 此靴は餘り高價過ぎる。

These shoes are too dear.

7. あの靴は私には (for me) 餘り少さ過ぎる。

These shoes are too small for me.

8. 此本(複)は全く安い。

These books are quite cheap.

9. 此手袋は安くも高くもない(適當な價だ)。

These gloves are proper.

10. 是等の子供は學生ですか。はい。さうです。

Are these boys students? Yes, They are.

11. あの人が驛長ですか。はい、さうです。

Is that man the station master? Yes, he is.

12. 此れは停車場ですか。はい、さうです。

Is this a station? Yes, it is.

(注意) 以上三例の答を御覺なさい。普通斯く略して用ひます

13. 五十哩未満 (under 50 miles) の切符は發行當日丈有効です。

A ticket for under <sup>フィフティ</sup> 50 miles, is available for the day of issue only.

14. 五十哩以上 (more than <sup>フィフティ</sup> 50 miles) 百哩未満の切符は發行日を入れて (include) 二日間通用します。

A ticket for more than 50 miles and under <sup>ハンダレッド</sup> 100 miles, is available for two days, including the day of issue.

15. 日本には (in Japan) 伊香保・草津・熱海・箱根 に良い

(excellent) 温泉 (hot spring) が幾らも (several) あります。

In Japan, there are several excellent hot springs at Ikao, Kusatsu, Atami, and Hakone.

16. 日本には、湖は澤山ありません。

There are not many lakes in Japan.

17. 日本には華嚴・裏見・布引・那智等と云ふ (such as) 立派な

(beautiful) 瀧 (waterfall) が澤山あります。

In Japan, there are many beautiful waterfalls, such as the Kegon, Urami, Nunobiki, Naehi, etc.

(註) "etc." は <sup>エトセトラ</sup> *et cetera* の略字で「等」「云々」の意。

18. 利根、信濃、木曾、北上、天龍、石狩等澤山河 (river) があります。

In Japan, there are many rivers, such as the Tone, the Shinano, the Kiso, the Kitakami, the Tenryū, etc.

(註) 何れ後に説明すべきも河名には "The" を付するとを注意せよ。

19. 日本帝國 (The empire of Japan) は三府四十三縣に區別 (divided into) してあります。

The empire of Japan is divided into 3 Fu and 43 Ken.

(注意) 日本數通りに書くときは皆單數の形です。何故なれば

日本で複數を用いないからです。「府」は (Municipality)

「縣」は (Prefecture) と普通譯します。是等の字を用ゐれば勿論複數の形になります。

20. 五圓札を小錢に換へて (Change) 貰ひ度い。

I want change for a five yen note.

21. 十圓小錢を御持ちですか。

Have you change for a ten yen note?

22. 百圓丈金貨で換へて下さい。

Please change me in ten yen gold for one hundred yen note.

## Lesson XXI (第廿一課)

tray (盆) tea (茶) pen-holder (ペン軸) cup (コップ)

tea-pot (急須) tea-cup (茶碗) coffee (カヒー)

vacant (空イタ) cigarettes (巻烟草)

## I

{ I want a table and **some** chairs.  
私はテーブルと椅子が(複数)欲しい。

{ I want a dictionary and **some** novels.  
私は辞書と小説(複数)が欲しい。

## 2

{ There is a shelf with **some** books on it.  
本の乗った棚があります。

{ There is a tray with **some** cups on it.  
コップを載せた盆があります。

## Grammar (文法)

1. 複数名詞ヲ用ヒテ其物ノ數ヲ云ハザル時ハ常ニ“some”ヲ用フ。

(説明) 日常の會話に最も多く使ふ「見ます I see」とか「持つて居る, I have」「欲しい, I want」「下さい, give me」「持て来て下さい, bring me」等の次に来る複数には大抵“some”が付きます。特に食物・飲物等には必ず付けます。而して“some”は時として五六の意味となり。時として

は「若干」或は「少し」の意味となります。

I see some books on the shelf.  
I want some chairs.  
I have some interesting books.  
Give me some tea.

日本では此“some”と云ふ字の表す少し又は若干と云ふとを一々譯す必要がありません例へば英語で“Give me some tea”を「私ニ少シノお茶ヲ下サイ」と譯す必要はない只だ「茶ヲ下サイ」で充分です。併し「茶ヲ下サイ」を英譯するには必ず“some”を略してはいけません。

## (注意)

- (a) A shelf **with** some books **on** it. 本の乗て居る棚。  
(b) A basket **with** some eggs **in** it. 卵の這入て居る籠。  
(c) A tray **with** some cups **on** it. 茶碗の乗て居る盆。  
(d) A box **with** some pens **in** it. ペンの這入て居る箱。

乗て居る 這入て居る を譯す時に“with”と“in (又は on)”の字の位置を注意なさい。

{ The man has a gun <sup>on</sup> his shoulder  
其男は肩に銃をかついで居る。  
A man with a gun on his shoulder.  
肩に銃をかついで居る男。



## Exercise

What do you want?	汝は何が欲しいか。
What do you see?	汝に何が見えますか。
What do you like?	汝は何が御好きですか。
Will you take some?	召し上りますか。

1. 私はペン(複)とペン軸ペン軸が欲しい。  
I want a pen-holder and **some** pens.
2. あの女兒は林檎の這入這入た籠籠を持って居る。  
That girl has a basket with **some** apples in it.
3. 茲に急須と茶碗(複)とが乗乗て居る盆盆がある。  
Here is a tray with a tea-pot and **some** tea-cups on it.
4. 綺麗な茶碗茶碗を持って来て呉れ。  
(a) { Bring me some clear tea cups.  
      { Bring me a clean tea-cups.
5. 茶を一杯呉れ。  
Give me a cup of tea.
6. 茶を召し上りますか(will you take)?  
Will you take **some** tea?
7. どうかコーヒーと湯湯を下さい。  
Please give me **some** coffee and hot water.
8. 汝は御湯御湯が欲しいですか。

- Do you want some hot-water?
9. 僕は面白い小説(複)を持って居ます。  
I have **some** interesting novels.
  10. 重い荷物を背負背負つて居る驛夫驛夫が居る。  
There is a porter with a heavy baggage on his back.
  11. 空空いて居る椅子椅子があります。  
There are some vacant chairs.
  12. 巻烟草巻烟草を買買つて下さい。  
Let me have **some** cigarettes.
  13. 私の部屋の鍵(key)を下さい。  
Give me the key of my room.
  14. 砂糖砂糖を持つて来て呉れ。是はあまりイナツテ (enough) 甘甘く (sweet) ない。  
Bring me **some** sugar, it is not sweet enough.
  15. 産立産立ての卵new-laid eggsがありますが如何如何です。  
We have **some** new-laid eggs; do you want them?
  16. { もっと下さい。Give me **some** more.  
      { 今少し下さい。Give me **a little** more.
  17. 湯出卵boiled eggsを三三つ下さい。  
Give me three boiled eggs.
  18. 急須急須に湯湯をさして (put in) 呉れ。  
Put **some** hot water in the tea-pot.

(注意) 茶を入れるは“to make the tea”と云ふ即ち「自分  
で茶を入れませう」は“I will make the tea myself.”

19. 何卒茶碗に半分お湯を下さい。

Please **give me** half a cup of hot-water.

20. 魚を召し上りますか。

Will you take some fish?

21. 鮭が欲しい。I want some salmon.

### Lesson XXI (第貳拾壹課)

フレンチ	セカンド	ハンズ	フル	カインド	ソープ
French (佛語)	second-hand (古)		kind (種類)	scap (石鹼)	
ホテル	ヴァカント	ルーム	アパートメント	トゥー	レント
hotel (旅館)	vacant room (明間)		apartment to let (貸間)		
ノー	アビリティー	トゥ	エンターテイン	ダウト	
knowledge (智識)	ability (技倆)	to	entertain	doubt (疑を挟む)	
ディスタリリー	スペシヤリ	フエマス			
distillery (醸酒所)	specially (特別に)	famous (有名なる)			
プロダクシオン	ポセレーイン				
production (産物)	porcelains (陶器)				

#### 1

Have you **any** interesting books?

Yes, { I have many interesting books.  
I have **some** (interesting books).

君は何か面白い本を御持ですか。

エ— { 澤山面白い本を持て居ます。  
幾らかあります。

#### 2

Have you any English novels?

No, I have **none** (=no English novels).

君は何か英語の小説を御持ですか。

イーエ。一冊もありません。

#### 3

Don't you want **any** money?

I do **not** want **any** (money).

君は錢が御入要ではありませんか。

私は錢は少しも入要ではありません。

(注意) **any**…? 疑問文の場合には「幾ラカ有ルカ又ハ無イカ」の意味で詰り有無を問ふ時用ゐらる。(上例 1)

not…**any** 否定文例へば “I do **not** want **any** book.”

の如き文にては「少シモ無イ」(上例 3)の意味となる。

### Grammar (文法)

1 複數名詞ヲ用ヒテ其數ヲ精確ニ云ハルル時ハ“some” 或ハ“any”ヲ用フ。

(a) “any” は疑問文及び否定文に用ふ。

Do you want **any** books? (疑問文)

I do **not** want **any** books. (否定文)

(b) “some” は可定文命令文及其他凡てに用ふ。

I want **some** books. (可定文)

Give me **some** water. (命令文)

(注意) “any”を物質名詞抽象名詞に付けるとを得又單に物の有無を問ふ時には單數普通名詞にも用ふるとあり

2. “not any”ト直ニ連續スル時ハ此ニ語合ヘシテ“no”トナリ又其次ニ來ルヘキ名詞ヲ略ス時ハ“none”トナル。

I have { no (=not any) books.  
none. (=not any books)

3. “no”ハ單數複數孰レニモ用ヒラル。

單	Have you a father? I have no father.
複	Have you any sisters? I have no sisters.

4. 答ノ略シ方

(a) 單數に於ける答を略すには“one”を用ふ。

Have you a book? Yes, I have one (=a book).

(b) 複數に於ける答を略するには“some”を用ふ。

Have you any books? Yes, I have some (books)

### Exercise

1. 君は佛蘭西語の本(複)を御持ですか。

Have you any French books?

2. イーエ、一冊もありません。

No, I have none. (=no French books)

3. 君は何が御入用ですか。

What do you want?

4. 鉛筆がほしいです。

I want some pencils.

5. 君は兄弟(複)か姉妹(複)がありますか。

Have you any brothers or sisters?

6. 兄弟姉妹が幾人ありますか。

How many brothers and sisters have you?

7. 私は姉妹は三人ありますが(but)兄弟はありません。

I have three sisters but, no brother.

8. 良いペンがありますか(商店にて)。

Have you any good pens?

9. 大層良いのが御座います。

Yes, we have very good ones.

(注意) 商店員、會社員、官吏等は普通“we have”と云ふ複數の形を用ふ。

10. 英文典の(on)古本はありませんか。

Have you any second-hand books on English grammar?

11. 二三種あります。

Yes, we have two or three kinds.

12. 是等の本は大層安う御座います。

These books are very cheap.

13. アナタは辭書(複)がありますか。

Have you any dictionary?

14. 一冊家に(at home)あります。

Yes, I have one at home.

15. 君石鹸を御持ですか。

Have you any soap? (物質名詞の例)

16. 石鹸は無いですが糠(bran)ではどうです(will do).

I have **no soap**, but how will bran do?

(注意) “will do” は日本語の「間=合フ」の意味なり。

{	此本で間に合ひますか。	{	それで間に合います。
	Is this book will do?		That book will do.

17. 此町に良い旅館がありますか。

Is there any good hotel in this town?

18. 明間がありますか。

Have you any vacant room?

19. 貸間がありますか。

Have you any apartment to let?

(注意) 以上の場合には複数にも用ひます。

亦次の様な抽象名詞を(後に説明)の場合にも複数の

形に“any”を用ふ。

20. 彼の方は獨逸語の智識がありますか。

Has he any knowledge of German?

21. エー、十分の智識があります。

Yes, he has sufficient knowledge of it.

22. 君は彼の技倆を疑ふのですか。

Do you entertain **any** doubt of his ability?

23. 此近邊の名物は何ですか。

What production is this neighbourhood noted for?

(註解) “to be noted for” は「名高イ」「有名ナ」の意

にて“to be famous for”と同じ。

(a) 伊丹は酒が名物だ。

Itami is noted for its **sake** distilleries.

(b) 吉野山は櫻花で名高い。

Mt. Yoshino is noted for its cherry-blossoms.

(c) 京都の名物は陶器(porcelains,) 縫箔(Embroideries)

絹(silk) 天鵝絨(velvets)です。

Kyoto is noted for its fine porcelains, its embroideries,

silk and velvets.

24. 此邊には別に名物はありません。

There is **no** specially famous production in this neighbourhood.

25. そんなに色々な物を(many things)腰掛(seat)に御置にな

れば外の人(other people)の座る(sit down)席(room)がありません。

If you place so many things on the seat, there is **no** room for other people to sit down.

## Lesson XXII (第貳十貳課)

## 1

{ I have a big peach. 僕は大きな桃を持て居る。  
 { I am very fond of peaches. 僕は桃が大好きだ。

{ I have a good knife. 僕は好いナイフを持て居る。  
 { He has two knives. 彼は二つナイフを持て居る。

## 2

{ Have you a watch? 君は時計を御持ですか。  
 { Yes, I have two watches. エー二個あります。  
 { Are these insects flies? 此等の虫は蠅(複)ですか。  
 { No, they are mosquitoes. イーエ蚊(複)です  
 { Are those animals wolves? ソレ等の動物は狼ですか。  
 { No, they are foxes. イーエ。狐です。

(注意) 前に単数名詞を複数の形にするには“s”を附ける様に教へましたが今度は其例外とも見るべきもので色々變つた複数の造り方を教わたのです。

## Grammar (文法)

複数ヲ作ルニ單ニ“s”ヲ加ヘズシテ“es”ヲ附ケル場合アリ次ノ如シ。

(1) 語尾に“S, Z, X, Sh, Ch”ヲ有スル場合ニハ“es”ヲ加

## フ。

單數	複數	單數	複數
(桃) Peach	Peach'es	(狐) fox	fox'es
(時計) Watch	Watch'es	(箱) box	box'es
(寸楯) Match	Match'es	(皿) dish	dish'es
(教會) Church	Church'es	(簕) bush	bush'es
(コップ) Glass	Glass'es	(腰掛) bench	bench'es

(2) 語尾ニ“y”ヲ有シ其前ニ子音アル語例ヘバ“by, dy, ny, py, ry, ty”等ハ“y”ヲ“i”ニ變シテ其次ニ“es”ヲ加フ。

單數	複數	單數	複數
(蠅) fly	flies	(話) story	stories
(間諜) spy	spies	(婦人) lady	ladies
(櫻果) Cherry	Cherries	(縫箔) embroidery	embroideries
(小馬) pōny	ponies	(都會) city	cities

(注意) 語尾の“y”の前に母音ある語例へば“ay”“ey”

“oy”には只だ“s”を附けるばかりです

(日) day—days (男童) boy—boys

(玩具) Toy—Toys (鍵) key—keys

(3) 語尾ノ“o”ナル時ニ“es”ヲ加フルモノアリ。

單數	複數	單數	複數
(英雄) hero	ヒーローズ heroes	(馬鈴薯) potato	ポテトズ potatoes
(蚊) mosquito	モスキートズ mosquitoes	(載貨船) cargo	カーゴズ cargoes
(反響) echo	エコーズ echoes	(水雷) torpedo	トビーロズ torpedoes
(火山) volcano	ヴォルカナーノズ volcanoes	(黒奴) negro	ネグロズ negroes
(題目格言) motto	モトズ mottoes	(女丈夫) virago	ヴァイレゴズ viragoes
(惡徒) bravo	ブラヴォズ bravoes	(鯉魚) bonito	ボニトズ bonitoes
(布告) manifesto	マニフェストズ manifestoes	(諷刺) in-nu-en-do	イヌエンドズ innuendoes

(注意)

(a) 語尾“o”なる場合にも單に“s”を加ふるものあり。此等は極めて稀に用ふる語なるも其例を少し擧げん。

單數	複數	單數	複數
(骨董) curio	キュリオズ curios	篇(詩篇) canto	カントズ cantos
(四ツ折判紙) quarto	クワートズ quartos	(一葉八ツ折紙) octavo	オクタヴズ octavos
(窟洞) grotto	グロトトズ grottos	(捕索) lasso	ラッソズ lassos

(b) 語尾“o”なる場合に“es”或は“s”の孰れを用ひても複數となり得るものあり。  
 mango(e)s (印度垣河畔に育成する植物) portico(e)s (支關, 前廊) calico(e)s (更紗, キヤラコ布) mulatto(e)s (白人ト黒人トハアイノ子)

(4) 語尾ノ“f”或ハ“fe”ナル時ハ“f”ヲ“v”ニ代ヘテ“es”ヲ加フ語アリ。

單數	複數	單數	複數
(狼) wolf	ウルフズ wolves	(妻) wife	ワイフズ wives
(ナイフ) knife	ナイフズ knives	(葉) leaf	リーフズ leaves
(半分) half	ハーフズ halves	(棚) shelf	シェルフズ shelves
(自分) self	セルフズ selves	(人命傳記) life	ライフズ lives

(注意) 次の例外“e”を加へるので注意なさい

(長) chief-s	(屋根) roof-s	(蹄) hoof-s
(惡戯) mischief-s	(證據證明) proof-s	(譴責) reproof-s
(盜賊) thief-s	(悲哀) grief-s	(手巾) handkerchief-s

Exercise

- 僕はナイフが二挺ありますから一挺君に御貸し申しませう。  
I have two knives, so I will lend you one.
- 窓の外に(outside)飛んで居る(flying)虫は何ですか。  
What are those insects flying outside the window?
- 蚊です。  
They are mosquitoes.
- 私は箱を四つ欲しい。  
I want four boxes.

5. 皿を五枚持つて来て呉れ (bring me).  
Bring me five dishes.
6. 葡萄酒を一壺 (a bottle of wine) とコップ(複)持つて来て下さい。  
Bring me a bottle of wine and some glasses.
7. ビール一盃飲もうぢやないか (let us).  
Let us take a glass of beer.
8. 厭やだ、酒 (liquor) を飲むのは善くない。  
No, it is not good to take any liquor.
9. 私の伯父は時計を二箇金のを一つと銀のを一つ持つて居る。  
My uncle has two watches; one is gold, the other is silver.
10. 東京は大都會である。  
Tokyo is a large city.
11. 京都も大坂も又(also)大都會です。  
Kyoto and Osaka are large cities also.
12. 面白い話を聞かせて上げませう。  
I will tell you an interesting story.
13. 私は可笑しな (funny) 話を幾つも知つて居る。  
I know many funny stories.
14. 日本は強い (powerful) 國だ。  
Japan is a powerful country.
15. 支那 (China) や露西亞 (Russia) は大きな國です。

China and Russia are large countries.

16. 狐や狼は野獸 (wild animals) です。  
Foxes and wolves are wild animals.
17. 寸燐を御持ちですか。  
Have you any matches?

Lesson XXIII (第貳拾參課)

men (manノ複數)    than (ヨリモ)    musician (音樂家)  
women (womanノ複數)    Imperial Diet (帝國議會)  
children (childノ複數)    merchants (商人)

1

**Man** is stronger than **woman**.

There are many **men** and women in the station.

男は女よりも強い。

停車場に澤山男と女どが居ります。

2

How many **children** do you have?

I have a **child**, a boy.

あなたに御子さんが幾人御有りですか。

私は男の子が獨りあります。

3

How many **geese** do you see on the pond?

I see only a **goose**.

池に鵝鳥が何羽居るか君に見えますか。

僕にはタツタ (only) 一羽見えます。

4

A deer is larger than a sheep.

There are many deer and sheep in the park.

鹿は羊よりは大きい。

公園には澤山鹿や羊が居ります。

## Grammar (文法)

次に挙げたのは不規則な複数形です。普通多く用ふる言葉ですから注意して覚えなくてはなりません。

(1) 単数名詞母音ヲ變シテ複数名詞トナスモノ。

單數	複數	單數	複數
(男・人) <sup>マン</sup> man	<sup>メン</sup> men	(女) <sup>ウーマン</sup> woman	<sup>ウイメン</sup> women
(二十日鼠) <sup>マウス</sup> mouse	<sup>マイス</sup> mice	(虱) <sup>ラウス</sup> louse	<sup>ライス</sup> lice
(足) <sup>フット</sup> foot	<sup>フィート</sup> feet	(齒) <sup>トゥース</sup> tooth	<sup>テース</sup> teeth
(鵝鳥) <sup>グース</sup> goose	<sup>ギース</sup> geese		

(2) 單数名詞ノ語尾ニ“en”ヲ附ケテ複数ノ形トナスモノ。

(小供) child—<sup>チルドレン</sup> children (牡牛) ox—<sup>オクセン</sup> oxen

(兄弟) brother—<sup>ブレthren</sup> brethren (此複数のは意味は四海同胞等  
同胞ノ意味ニテ brothers トハ異義)

(3) 單数モ複数モ同形ノモノ。

deer (鹿)	sheep (羊)	<sup>スワイン</sup> swine (豚)
<sup>グラウズ</sup> grouse (松鷄)	<sup>テール</sup> teal (小鴨)	<sup>ウッドコック</sup> woodcock (山鷄)
<sup>スナイプ</sup> snipe (鷓)	<sup>トラウト</sup> trout (鱒)	<sup>サーモン</sup> salmon (鮭)
<sup>カアプ</sup> carp (鯉)	<sup>マッケレル</sup> mackerel (鯖)	

Fish(es) (魚) } 是れ等は單数の形にて複数の意味  
Heathen (s) (異教徒) } ともなり又は複数の形にする両方  
Cannon (s) (大砲) } の場合があります。

## Exercise

1. 鵝鳥は白鳥よりは (than) 小さい (<sup>スモール</sup> smaller).

A goose is smaller than a swan.

(註) “small-er” 形容詞(又は副詞に)に“er”を付けるのは比較の形で『…ヨリ…』となるのです後に説明します。普通“than”と云ふ字が伴って居ます。

2. 二十日鼠は鼠よりは小さい。

A mouse is smaller than a rat.

3. あの人等は皆(all)妻がある。

All of them have their wives.

4. あの人等は家族が多い (to have a large family).

They have large families.

5. あの女の歯が大層奇麗だ。

She has very fine teeth.



6. 此等の紳士や婦人は皆僕の友人だ。  
These ladies and gentlemen are all my friends.
7. 彼の人には息子二人、息女三人皆で(in all)小供が五人ある。  
He has five children two sons, three daughters in all.
8. 小山の上に(on the hill)牡牛が五頭、羊が十五頭居ます。  
There are five oxen and fifteen sheep on the hill.
9. 此等のナイフは鋼鐵で出来て(make-of)居る。  
These knives are made of steel.
10. 此等の時計は黄金で出来て居る。  
These watches are made of gold.
11. 此子は悪い齒(單)がある  
This child has a bad tooth.
12. 馬には蹄がある。  
The horse has hoofs.
13. 狐や狼は野獸です  
{ Foxes and wolves are wild animals.  
{ The fox and the wolf are wild animals.
14. 常盤木(evergreen-tree)は年中(all the year round)葉が緑だ(green).  
Evergreen-trees have green leaves all the year round.
15. あれ等の人には富んだ(rich)商人だ。  
Those men (=they) are rich merchants.

16. 是等の女は上手な(good)音楽家だ。  
These women (=They) are good musicians.
17. 三十歳以下(under 30 years of age)の男及び廿五歳以下の女は其兩親の承諾(consent)が無くしては(without)結婚する(marry)ことが出来ません。  
Men under 30 and women under 25 cannot marry without the consent of the parents.  
(注意) 茲では“30 years of age”或は“25 years of age”と云ふのは略したのです普通は正式に書くなり。
18. 結婚年齢(The marriageable age)は男は(for)満(full)十七歳、女は十五歳です。  
The marriageable age is 17 full years for men and 15 full years for women.
20. 日本の帝國議會は貴族院(The House of Peers)及び衆議院(The House of commons)の二院(two Houses)より成る(to consist of).  
The Imperial Diet of Japan consists of two Houses.

## Lesson XXIV (第貳拾四課)

プロフェッサ	ポライトネス	グローリアス
professor(教授)	politeness(丁寧、慇懃)	glorious(光榮ある)
ヴィクトリー	ネーヴァル エンゲージメント	ワールド
victory(勝利)	naval engagement(海戦)	world(世界)
コーテジス	アドミラル	
courtesy(禮讓)	admiral(海軍大將)	

1

Who are you? I am \*one Taro Odu.  
 What are you? I am an officials of the  
 Imperial Railways  
 あなたは誰人ですか 私は小田太郎と申す者です

{ \*one は「ト云フ者」の意なり之を略して云はざるも可なり  
 又西洋人は普通名を先に云つて姓を後に云ふ。  
 あなたの御職業は何ですか。私は帝國鐵道院の吏員です

Who is he? He is one Mr. Gotō.  
 彼の人は誰人ですか。彼は後藤さんです。  
 What is he? He is the station master.  
 彼の人の御職業は。驛長です。

### Grammar (文法)

(1) (疑問代名詞) who? "what?" "which?" "whose?"  
 "whom?" 等ヲ疑問代名詞ト云フ。

(説明) "who?" は人の誰なるかを問ふに用ふ。

"what?" は人に用ふる時は其人の身分又は職業を問  
 ふ併し普通は物の何なるかを問ふ。

What bird is this? の如し。

"Which?" は「どれ」或は「どちら」の意。

Which is your book?

Which of these gentlemen is your brother?

の様に物にも人にも用ふ。

(2) 代名詞には

- (a) <sup>ノミナチーブ</sup> Nominative case (主格) 日本語の「ハ」又は「ガ」に相當  
 する格。  
 (b) <sup>ポセシブ</sup> Possessive case (所有格) 日本語の「ノ」に相當する格。  
 (c) <sup>オブヂェクチーブ</sup> Objective case (目的格) 日本語の「ヲ」「ニ」「ヘ」の格。

次の表を見よ (51ページの「人稱」「數」及び「主格」「所有格」の  
 表を参照せよ)。

主 格	所有格	目的格
は(が)	の	を(に)(へ)
I	my	me
you	your	you
we	our	us
He	his	him
She	her	her
It	its	it
They	their	them

1. あなたは此若い淑女や紳士等を御存じですか。

Do you know these young ladies and gentlemen?

2. エー、よく(well)知つて居ます。あれは私の兄の友人です。

Yes, I know **them** well. They are friends of my elder  
 brother's.

3. 此等の若者は何で(身分)ですか。

What are these young men?

## 4. 大學の生徒です。

They are the students of the University

5. 私は	} 知て居る	I know	彼を	you.
			彼を	him.
			彼女を	her.
			彼等を	them.

6. 本を	} 與へよ	Give	私に	} a book.
			彼に	
			彼女に	
			彼等に	

## 8. 彼の方は何ですか。

What is he?

## 9. 鐵道院副總裁です。

He is the Vice President of the Imperial Government Railways.

## 10. 彼の伯父は宮内省の官人(official)です。

His uncle is an official of the Imperial Household.

## 11. 彼女の夫は總支配人です。

Her husband is the General Manager.

## 12. 彼等の教師は東京帝國大學の教授です。

Their teacher is a professor of the Tokyo Imperial University.

## 13. 私の父は庶務課長です。

My father is the Chief of General Affairs.

14. 日本人(The Japanese)は丁寧なので、禮讓とに於て世界に

(over the world) 名高い (famous for).

The Japanese are famous over the world for their politeness and courtesy.

## 15. 東郷大將は日本海大海戦の大勝利 (glorious victory) に於て世界に名高い。

Admiral Togo is famous over the world for his glorious victory in the great naval engagement of the Japan-sea.

## Lesson XXV (第貳拾五課)

What is the matter? (with) どうしたか。

## 1

Is your examination over? Yes, it is.

Are You not glad that it is over?

Yes, I am very glad.

あなたの試験は済みましたか。エー済みました。

それが(試験が)済んで嬉しくはありませんか。

(Yes を「ソウデス」と譯せば日本語にてをかし)大層嬉しいです。

## 2

Are you not fond of foreign food?

Yes, I am very fond of it.

No, I am not fond of it.

アナタは西洋料理は御好きではありませんか。

註 { I am fond of it = I like it.  
You are fond of it = you like it.  
{ He } is fond of it = { He } likes it.  
{ She } is fond of it = { She } likes it.

(Yes,) 大層好きです。

(No,) 好みません。

3

Are you not sorry that Mr. Ono is dead?

Yes, I am very sorry.

Are you not angry that I came too late?

No, I am not angry at all.

小野君が死んであなたは悲しくはありませんか。

(Yes,) 私は大層悲しいです。

僕が遅れて (too late) 来たから君は怒りや居ませんか。

イーエ, チヨども (at all) 怒りや居りません。

### Grammar (文法)

(1) 打消ノ疑問(例へば "are you not glad?" ノ如キ) = 對シテノ答フル時モ他ノ疑問ト同ジク可定ノ場合 "Yes" 否定ノ場合ハ "No" トナル。

(説明) { Are you glad? 「汝は嬉しいですか」 = 對シ。  
{ Yes, I am glad. そうです嬉しいです。  
{ No, I am not glad. イーエ. 嬉しくありません。

是れは日本語の思想の表し方と全く同じて少しも間違は起らんが併し。

Are you not glad? 「汝は嬉しくありませんか」に對し。

Yes, I am glad. そうです嬉しいです。

此場合日本語では打消の質問故「イーエ嬉しいです」と答ふるが普通なり隨て

No, I am not glad. イーエ. 嬉しくありません。

は日本語では「そうです嬉しくありません」と云ふが普通なり。故に打消の疑問でも "Yes" と答ふる場合には「然り一である」の意となり又 "No" と答ふる時は「否…でない」の意となるから邦語と違ふ點に注意しなくては往々間違が出来ます。上の例を下の如く並べて見れば一目瞭然に解ります。

Are you glad? { Yes, I am glad.  
{ No, I am not glad.

Are you not glad? { Yes, I am glad.  
{ No, I am not glad.

即ち答は可定の時は常に "yes," 否定の時は常に "no" で決して問の形には關係しません。だから英語では "Yes, I am not sorry" などとは決して言ひません。

(2) 形容詞ヲ用ヒテ日本語ノ「何々シテ居ル」ト云フ動詞ノ意味ヲ現ハス時ハ其前 "be" (am, is, are) ト云フ動詞ヲ置クヘシ。

I am (You are) (He is) (They are)	}	glad.	私は悦で居ます(嬉しい).
		sorry. <small>アソビグリー</small>	私は氣の毒だ(残念だ, 悲しい, 悔む).
		angry <small>ハツアツ</small>	私は怒て居る.
		hungry	私は空腹だ.
You are (am) (is)	}	fond of <small>アツキ</small>	汝は好きだ.
		afraid of <small>アフレイフ</small>	fear 汝は恐れて居る.
		ashamed of <small>アッシュームド</small>	汝は耻ぢて居る.
		proud of <small>プラウド</small>	汝は威張て居る(誇て居る).
He is (am) (are)	}	tired of <small>タイード</small>	彼は疾れて居る.
		dead	彼は死んだ.
		thirsty <small>サースタイ</small>	彼は喉が渴いて居る.
		right	彼は正しい(云ふとが).
		wrong	彼は間違つて(云ふとが)居る.

## Exercise

1. 如何です。 How are you?
2. 御丈夫ですか。 Are you well?
3. 有難ふ。極めて達者です。 Thank you, I am very well.
4. 御母さんは如何です。 How is your mother?
5. 難有ふ極めて達者です。 She is quite well, thank you.
6. 吉野君は御丈夫ですか。 Is Mr. Yoshino well?
7. 餘り(so)丈夫ではありません。 He is not so well.
8. ドウシタ(what is the matter?)の。  
What is the matter with him?

9. 彼は肺病from consumptionで苦しんで居る(is suffering)

He is suffering from consumption.

(注意) 彼は肺病で死んだ.

He has died of consumption. 即“suffer”には“from”,  
“die”には“of”

10. 彼は悪邪をひいた。 He has taken cold.
11. 御家族様皆様御變りはありません(無事であるか)か。  
Are your family all well?
12. 皆無事です。難有ふ。  
They are quite well, thank you.
13. 君、疲れませんか。 Are you not tired?
14. 先生は腹を立てては居ないか。  
Is the teacher not angry?
15. 此の林檎は熟して居ますか。  
Are these apples ripe?
16. 試験が到頭仕舞になつた。  
The examination is over at last.
17. 彼の人は餘り威張るから(because) 僕は嫌だ(好かぬ)。  
I don't like him because he is too proud.
18. 僕の云ふとが間違て居ますか。  
Am I wrong?
19. 彼の云ふ事は違つて居る。 He is wrong.

20. 君 寒くはないか。 Are you not cold?

21. 寒かない。 暖かい。 No, I am hot.

### Lesson XXVI (第貳拾六課)

マリー marry (結婚する)	コングラチュレート congratulate (祝スル)	プロモウション promotion (昇進)
エグザミネーション examination (試験)	アッシュェイムド ashamed (恥)	アフレイド afraid (恐)
アングリ angry (怒)	タイア tire (倦い・疲レ)	

I am fond of apples.  
私は林檎が好きだ

I am very glad of it.  
私はソレガ嬉しい

I am ashamed of it.  
私は其れが恥かしい

I am afraid of it.  
私はそれが恐ろしい

He is angry with me.  
彼は私に腹を立て居る

### Grammar (文法)

(前置詞ヲ支配スル語) (words governing prepositions)

fond (好い) afraid (恐レル・心配スル) glad (嬉しい・善ぶ)

ashamed (恥ズかしい)等ノ動機ヲ現ハス言葉ノ次ニ名詞ヲ置

クニハ其間ニ必ラズ前置詞ヲ置クヲ要ス。

斯ノ如キ語ヲ前置詞ヲ支配スル語ト云ヒマス

(説明) 是れは英語の用法の中では六ヶ敷もの一つです。

故に能く注意して其語と又それに定まつて附屬する

前置詞とを暗記しなければいけません。

### Exercise.

1. 試験がとうとふ (at last) 済んだ (over)! 僕はそれが非常に嬉しい。

The examination is over at last! I am very glad of it.

2. あなたは御結婚なさる様に (going to marry) 聞きましたか  
本當で御坐いますか (is it true?)

I heard that you are going to marry; is it true?

3. そふですか。それは喜ばしい。

Is that so? I am very glad of it.

4. 私は貴下の御結婚を御祝ひ申します。

I congratulate you on your marriage.

(注意) marry は「結婚する」にて動詞 marriage は「結婚」名詞 日本語の言ひ方にては “I congratulate your marriage” と言ひ度けれども英語には上の例(4)の如く云ふ。例へば

5. 私は貴下の御昇進を祝します

I congratulate you on your promotion.

6. 瀧車に乗り損ね (miss the train) しましたが。どうも誠に御氣の毒です。

Did you miss the train? I am very sorry for you.

7. どうとよ (after all) 試験に落第 (失敗する fail) しました。

誠に御恥しいです。

I have failed in the examination after all; I am very ashamed of it.

8. ね前のなした事 (what you have done) が恥かしいのか。

Are you ashamed of what you have done?

9. 僕は教師がこわい。

I am afraid of my teacher.

10. 彼の人其善い息子が自慢だ。

He is very proud of his good son.

11. 彼の女は其悪い娘を恥ちて居る。

She is very ashamed of her bad daughter.

12. 僕は牛肉が大好きだ。

I am very fond of beef.

13. 君の御父さんは君に腹を立てゝは居ないか。

Isn't your father angry with you?

14. 僕の父は何故 (why) あんなに (so) 腹を立てるか判らない。

I can't see why my father is so angry with me.

15. 私は教へるが倦いた (tired of)。

I am tired of teaching.

16. 私は散歩して勞れた。

I am tired with walking.

注 to be { tired of 倦いた  
tired with 疲れた

17. 彼の人其新らしい下男が大層氣に入 (to be pleased with) つて居る。

He is very pleased with his new servant.

18. He is very pleased at his punctuality

彼は彼の時計を守る (punctuality) のを満足に思つて居る。

### Lesson XXVII (第貳拾七課)

long (長) wide (幅) high (高) deep (深) middle (真中)  
tower (塔) size (大サ) thick (厚) far (遠)

#### 1

How old are you, Mr. Komura?

I am twenty-eight years old.

How old is your father?

He is sixty-two years old.

小村君、君は御幾歳ですか。

僕は二十八歳です。

あなたの御父さんは御幾歳ですか。

六十二歳です。

(注) years old は日本語の「歳」なり、向他に一の言ひ方あり。例へば「僕は十八歳です」を英譯すれば

I am eighteen years old. 或は

I am eighteen years of age. さも云ふ。

old さ云ふ形容詞を of age さ云ふ形容句に化したるなり

2

**How high** is that tower?

It is about thirty-feet high.

あの塔の高さは何の位ありますか。

三十呎位(about)(高さか)あります。

**How long** is this ship?

It is more than four hundred feet long.

あの船の長さは何の位ありますか。

四百呎以上(more than) あります。

**How wide** is this table?

It is three feet wide.

此テーブルの幅は何の位ありますか。

三尺あります。

(注意) 英語にては以上の例に示せる如く“long”(長さ)を聞かれた時には答にも“long”の字を用ひ“high”(高さ)を聞かれた時には答にも“high”を用います。是れは注意しなければ邦語の積りで略す様なところがあつていけません

### Grammar (文法)

(1) 年齢又は尺度を表はす名詞の後に形容詞(old, long, wide,

high, deep, thick, 等)を置くどあり。

例へば

I am ten years old. (十歳)

It is two feet long. (長二尺)

It is three feet wide. (幅三尺)

It is four feet deep. (深四尺)

It is five feet high. (高五尺)

It is an inch thick. (厚一吋)

(2) 英語にては 21 より 99 までの數を書くには hyphen (-)

を間に挟む。例へば

21=Twenty-one 99=Ninty-nine.

(注意) 第一號の普通單語第二頁を参照すべし

百以上の數には“hundred”ノ次“and”を置く。

例へば

210=Two hundred and ten

301=Three hundred and one

### Exercise.

1. 次の英文を譯讀せよ(チョーイス第一讀本第三十五課)

How old are you, Frank?

I am ten years old.

How old is your sister?



My sister is eight years old.

How old is your brother?

My brother is six years old.

How old is that boy?

That boy is nine years old.

How old is that girl?

This girl is seven years old.

How old is that baby? (註) baby は嬰兒

That baby is only one year old.

Do you know **how to count**? (註 How to count 數へ方)

Yes, I know how to count.

Can you count from one to ten?

Yes, I can count from one to ten.

(注意) 日本は何々の仕方を how to にて譯す 例へば  
 How to count (數へ方) How to write (書き方)  
 How to speak (喋り方) How to cook (料理方)  
 How to read (讀み方) How to sing (歌ひ方)

2. 此箱の大きは何の位ありますか。

What is the size of this box?

3. 長が六呎 幅が三呎、深さが二呎半あります。

It is six feet **long**, three feet **wide**, and two and a **half** feet **deep**.

4. あの時計臺(clock-tower)の高は何の位ありますか。

**How high** is that clock-tower?

5. 五十呎位あります。

It is about fifty feet **high**.

6. 此本の厚は何の位ありますか。

How thick is this book?

7. 一寸位あります。

It is about an inch thick.

8. 彼の人は五十以上に達しない二十歳位の息子があるから  
(because).

He must be more than fifty years old, because he has a son about twenty years of age.

9. あの人は中年(三十歳と五十歳との間)です。

He is a middle-aged man.

(注意) middle-man と云へば仲立人、周旋人の意味なり間違はぬ様注意すべし

10. 此河は真中頃で二丈位深さがある。

This river is about twenty feet **deep** in the middle.

次に序に“how”を用ふる疑問文の例を擧ぐるとせり。

11. 東京から横濱まで何の位(距離)ありますか。

**How far** is it to Yokohama from Tokyo?

12. 九里位あります。

It is about nine ri to Yokohama from Tokyo.

(注意) 日本語を英語に其通り譯さずに書く時は通例伊太利  
体字ヲ用ふ。

13. 次の停車場で何の位(時間)待たねばなりませんか。

How long must I wait at the next station?

14. 誠に御氣の毒ですが殆んど(about)一時間御待ちにならな  
ければなりません。

I am very sorry for you. You must wait about one hour  
(at the next station).

15. 切符が何枚御入用ですか。

How many tickets do you want?

16. 如何ですか。How are you?

17. 汝の御父さん今日御容体は如何ですか。

How is your father to-day?

18. 御兄さんは英語の御勉強は如何(進歩の程度)ですか。

How is your elder-brother getting on with his studies  
in English?

### Lesson XXVIII (第貳拾八課)

shawl (肩掛) brick-built (煉瓦造り) naval officer (海軍士官)

clothes (衣類) a great deal (澤山, 多額) cost (價スル)

wages (賃錢) taste (趣) various (種々)

## 1

Whose book is this? 是は誰の本ですか。

{ This is my brother's book. 是は私の兄弟の本です。

{ This one is my brother's. 此本は私の兄弟のです。

## 2

Has your father a carriage?

Yes, he has one.

Is that your father's carriage?

Yes, it is his.

君の父さんは馬車を御所有ですか。

エー, 壹臺あります。

それは君の御父さんの馬車ですか。

そうです彼ののです。

## 2

Has your sister a shawl?

Yes, she has one.

Isn't that your sister's shawl?

No, it is not hers.

### Grammar (文 法)

1. Possessive Case (所有格或は物主格と譯す)

My brother's book 「私ノ兄弟ノ所有スル本」  
 My father's carriage 「私ノ父ノ所有スル馬車」  
 My sister's shawl 「私ノ姉妹ノ所有スル肩掛」

にて

所有ノ意ヲ現スヲ以テ此形ヲ名ケテ所有格ト曰フ。

2. 單數ノ所有格ヲ作ルニハ單數名詞に Apostrophe (') 及ビ "S" ヲ加フ。

例へば brother...brother's father—father's

3. 複數ノ所有格ヲ作ルニハ若シ其各詞ノ語尾ニ "S" ヲ有スル時は apostrophe (') ノミヲ加フ。

brothers—brothers'

然レモ語尾ニ "S" ヲ有セザル複數各詞ニアリテハ單數ノ場合ト等シク (') ヲ加フ。 例へ

men—men's children—children's

### Exercise.

- あの山の上の煉瓦造の家は誰の家ですか。  
Whose is that brick-built house on the hill?
- 吉田君の家です。  
That house is Mr. Yoshida's.
- アノ隣の家は驛長の家です。  
The next house is the station master's.
- 是は男兒の學校ですか。  
Is this a boy's school?

- イ—エ女兒の學校です。  
No, this is girls' school.
- 此子の父は海軍士官です。  
This boy's father is a naval officer.
- あの若い婦人は高橋君の妻君です。  
That young lady is Mr. Takahashi's wife.
- あの女の子の父は金満家です。  
That girl's father is a rich man.
- 女の着物は金が掛る。  
Ladies' clothes cost a great deal.  
The clothes of women cost a great deal.
- 大工の日給は八十銭位だ。  
A carpenter's wages are about eighty sen.
- 人ノ趣味には色々ある。  
Men's tastes are various.

### Lesson XXIX (第貳拾九課)

ビューティフル(美シイ) マウンテン(山) コールド(呼バル、云ハレル)  
 シェイプ(形、像) ニュースペーパー(新聞紙) コース(課程)  
 レンジ(山脈) アドミラル(海軍大將) ディストレススィング(困ル、閉ル)

1

What is your name? 君の御名前は?

My name is Tagosaku Ono. (僕の名前は)小野田吾作です。

What is your teacher's name? 君の教師の名前は。

His name is Tarō Yoshida. (彼の名前は)吉田太郎です。

(注意) 日本語にて姓を先にして名を後にしますが英語では其反對で名を先にします。

例へば George Washington  
名 姓

Benjamin Franklin  
名 姓

元來なら固有名詞故姓名の順序に書くべきなれど英語の慣例に従ふて「小野田吾作」ならば「Tagosaku Ono」或は「T. Ono」と書きます。

## 2

What is the name of that beautiful mountain?

That mountain is called Fuji.

What is the name of that river?

That river is called the Sumida.

あの綺麗な山の名は何と云いますか。

あの山を富士と云ひます (called は呼ばれる)。

あの河の名を何と云ひますか。

(あの河は)墨田川と云ひます。

(注意) (a) 人名、國名、地名ニハ決シテ冠詞ヲ付ケズ

Tayama (田山) France (佛蘭西) Tokyo (東京)

ニテ「The」ヲ附セズ。

(b) 或る特定の山を呼ぶ時は冠詞を附せずして其山の前に Mount (山) の語を置く。例へば「富士山は美しい山だ」を譯するに

Mount Fuji has a beautiful shape.

(c) 山脈を云ふ場合には定冠詞「The」を附す。

Mount Everest is the highest peak of the Himalaya range. エヴェレスト山はヒマラヤ山脈中の最高峯だ。

(d) 河の名は三種に云ふ。

The River Sumida.  
隅田川 { The Sumida.  
The Sumida River.

The River Sumida }  
The Sumida } runs through the city of Tokyo.  
The Sumida river }

隅田川は東京の市を貫流して居る。

## 3

What is Tokyo?

Tokyo is the greatest city in Japan.

It is the capital of Japan.

東京は何ですか。

東京は日本最大の都です。

それは日本の首府です。

## Grammar (文法)

- (1) Possessive
- <sup>所有格</sup>
- ハ通例人及動物ノ名ニ用フ。

其他の無生物の名には“of”を用ふるを例とす

A man's name.....The name of a man

A boy's hat.....The hat of a boy

併し

The name of this city を This city's name と云ふは慣例に  
あらず。

## 注意

或る文法家は無生物の名には“S”を付くる能はざる如く云ふも  
決して然らず。例へば

This book's <sup>バインディング</sup> binding (=The binding of this book) is very  
<sup>ハンサム</sup> handsome. 此書物の表紙は大層奇麗だ。

今日ノ新聞 To-day's paper

三年ノ課程 Three years' course

など普通に用ふ。要するに何れにても發音し易くて意味の明瞭  
なるものを用ゐれば可し。必ずしも死したる文法の規則に依る  
を要せず。

- (2) 二個以上ノ接續シタル名詞ヲ所有格ニスルニハ其終ノ
- 
- 名詞ノミヲ變形ス。

This is Yamada and Kawakami's house.

(是れは山田と川上との家です)。

- (注意) Kawakami's house を Kawakami's として house を略
- 
- するとあり。

- (3) 人稱代名詞の所有格(my, our, your, his, her, their等)を
- 
- 用ひ得る場合には前置詞“of”を附けたる所有格の形
- 
- を用ひず。例へば

This is my hat. にて	This is the hat of me	} に非ず
This is our house. にて	This is the house of us	
That is her pen. にて	That is the pen of her	

- (注意) (a) 次の慣用法に注意すべし。

The smell of this fish is bad (此魚の臭は悪い)是れ文法  
上差支なしと雖も普通斯く云はず。

This fish has a bad smell. と云ふ。次の例を見るべし。

That woman has white teeth. (That woman's teeth are  
white と云はず)。

That house has a high roof. (The roof of that house is  
high と云はず)。

- (b) 名詞ノ次ニ其意義ヲ制限スル語アル時ハ其名詞ノ前ニ
- 
- “The”ヲ附ス。

Tokyo is the capital of Japan.

即ち The capital of Japan と云へば直ちに東京なることを知り得  
べければなり。然るに

Nagoya is a city in Japan.

と單に“a city in Japan”とのみにては其都會の果して東京たるや京都たるや又名古屋たるを知るに由しあし只「日本の一都會」の意味なり故に單に“a”を附す。

4. 固有名詞 (Proper nouns)

人名、地名、國名等凡テ一人名ノ人、一物ノ物又ハ一地名ノ名等固有ノモノノ名ヲ固有名詞ト曰フ。

(例) Hideyoshi (秀吉) Japan (日本) Tokyo (東京)

[規則]

- (a) 固有名詞の頭字は大文字(capital)にて書くべし。  
 (b) 固有名詞には冠詞を要せず。又一人一物に限られたる故複數なし。  
 (c) 例外、前に説明した河の名、山脈の名には冠詞を附す  
 The Oyama range (大山々脈) The Himalaya range (ヒマラヤ山脈)。

隅田川 利根川 ナイル川  
 “The Sumida” “The Tone” “The Nile”

又比喻の場合ニ固有名詞に“The”を附するとあり。

{東郷大將は日本ノネルソンだ。  
 {Admiral Tōgō is the Nelson of Japan.

の如し後に説明すべし。

The United States (合衆國) 複數の例なり

(注意) 冠詞の用法に付き次のとを注意せよ

(長崎港) Nagasaki Harbour 又ハ The Harbour of Nagasaki.

(東京灣) Tokyo Bay 又ハ The Bay of Tokyo.

(觀音崎) Kwannon Promontory 又ハ The Promontory of Kwannon.

(琵琶湖) Lake Biwa 又ハ The Lake of Biwa.

(琉球群島) The Ryukyu Archipelago 又ハ The Archipelago of Ryukyu.

(下ノ關海狹) Shimonoseki Strait 又ハ The Strait of Shimonoseki.

(京都の人民) The people of Kyoto 又ハ The Kyoto people.

Exercise

1. 華盛頓市は合衆國の首府です。

Washington is the capital of the United States.

- (注意) 合衆國の略字 U. S. A. は United States of America の首字です。

2. 此町を川崎と云ふ。

The town is called Kawasaki.

3. 英國の首府は倫敦です。

London is the capital of England.

4. 京都大阪ハ日本ノ大都會なり。

Kyoto and Osaka are large cities in Japan.

5. 横濱神戸は日本の繁榮な開港場です。

です。

Yokohama and Kōbe are prosperous open ports in Japan.

6. 此手紙の宛が間違つて居る。

The address of this letter is wrong.

7. 是等の花の香が非常に好い。

These flowers have very delightful perfume.

8. 東京の街の塵には實際閉口だ(困る)。

The dust in the streets of Tokyo is very distressing.

9. 松島の景色は格別奇麗だ。

The Scenery of Matsushima is particularly beautiful.

10. 六郷川は東京灣に流れ入る。

The Rokugo flows into the Bay of Tokyo.

11. 船が長崎から神戸へ行くには下ノ關海峡と内海とを通過します。

Ships pass through Shimonoseki Strait and Inland

Sea on the way from Nagasaki to Kobe.

12. 亞米利加大平洋艦隊 (American Pacific Squadron)

は唯今横濱港に投錨して(at anchor)居ります。

The American Pacific Squadron is at anchor in Yokohama

Harbour at present.

13. 琉球群島は沖縄島, 八重山, 都の諸列島より成る。

The Ryukyu Archipelago consists of Okinawa Island and

the Miyako and the Yayeyama groups.

14. 神戸迄の切符は幾日間通用致します。

How long does a ticket for Kobe hold good?

15. 新橋大森間の回数乗車券(a family commutation ticket)欲しい。

I want a family commutation ticket between Shimbashi and Ōmori.

16. 日光迄の往復切符を一枚下さい。

Please give me a return ticket to Nikko.

17. 鎌倉まで一車借り切る事が出来ますか。

Can you reserve us a whole car for Kamakura?

### Lesson XXX (第參拾課)

powerful (強キ, 勢力アル) perfect (完全な) model (模範) 型  
popularity (人望)

#### 1

- (a) Japan is a powerful country in the world.  
 (b) The Japanese call their country "Nippon".  
 (c) Japanese houses are perfect models of cleanliness.  
 (d) That foreigner can speak Japanese very well.  
 (a) 日本は世界の一強國です。  
 (b) 日本人は其國を「日本」と呼ぶ。  
 (c) 日本の家屋は清潔の完全な模範です。

(意譯すれば「日本の家屋は清潔な點に於ては實に完全で理想的だ」)

(d) あの外國人は日本語を大層上手に話す。

【説明】 Japan 「日本」 國名

Japanese 「日本ノ」 (形容詞)

The Japanese 「日本國民」

(a Japanese 一人ノ日本人)

Japanese 日本語

Grammar (文 法)

1. 或ル國民ノ一個人ヲ云フ時ハ (イ) 其國民ニ對スル形容詞ニ不定冠詞ヲ加フ (ロ) man の語を語尾に附す (例) a Japanese. a Chinaman.
2. 其國民全体ヲ稱スル場合ニハ (イ) 複數の形トシテ定冠詞ヲ加フ. 或ハ (ロ) 唯複數ノ儘ニテ現ス.

次ノ表ニ就テ見ヨ。

國 名	國民全体	國民ノ或ル個
日本 Japan	The Japanese, Japanese	a Japanese
韓國 Korea	The Koreans, Koreans	a Korean
支那 China	The Chinese, Chinese	a Chinaman
米國 America	The Americans, Americans	an American
英國 England	The Englishmen	an Englishman
佛國 France	The Frenchmen	a Frenchman

獨逸 Germany	The Germans, Germans	a German
猶太 Judea	The Jews, Jews,	a Jew
亞刺比亞 Arabia	The Arabs, Arabs	an Arab
西班牙 Spain	The Spaniards, Spaniards	a Spaniard
瑞典 Sweden	The Swedes, Swedes	a Swede
瑞西 Switzerland	The Swiss, Swiss	a Swiss

(注意) The people of Japan, (日本國民) The people of China (支那國民)ノ用法ノアルハ皆同シ

3. 抽象名詞 (Abstract noun)

體ヲ具ヘザルモ即チ物ニアラズシテ只其觀念(象)ヲ抽キ出シテ云フモノ例ヘバ popularity (人望) convenience (便利)等を抽象名詞ト云ふ。

抽象名詞には決して冠詞を附せず。

(注意) trade (農業) industry (工業) 等ハ抽象名詞ニシテ一般ノ場合ヲ云フ時ニハ勿論ナルモ或ル特種モノニ制限サレテ用フル時ハ定冠詞(The)ヲ附ス。

Exercise.

1. 日本人は支那人の様に (like) 決して (never) 豚尾 (pig-tails) を着け (wore) ない。  
The Japanese never wore pig-tails like the Chinese.
2. 露西亞は歐羅巴大國中の一つだ。  
Russia is one of the great Powers of Europe.



3. 獨逸では工業が著しく盛だ。  
Industry flourishes remarkably in Germany.
4. 合衆國の工業は年々發達する。  
The industry of the United States grows yearly.
5. 日本に於ける佛教(Buddhism)は支那から輸入されたのだ。  
Buddhism in Japan was imported from China.
6. 日本では數百萬人が農業に従ふて居る。  
Agriculture occupies millions in Japan.
7. 人望は常に富につき廻る(accompany)ものだ。  
Popularity generally accompanies wealth.
8. 繁榮(Prosperity)は徳義(Virtue)の試金石(touch-stone)なり。  
Prosperity is the touch-stone of Virtue.
9. 必要(Necessity)は發明(invention)の母なり。  
Necessity is the mother of invention.
10. 不注意(carelessness)が大抵火事の原因(cause)だ。  
Carelessness is the usual cause of fires.
11. 東京では火事の爲めに多くの財産(Property)を損ずる。  
Fires destroy much property in Tokyo.
12. 朝鮮では毎年多くの人々が「コレラ」の爲めに死ぬ。  
Many people die of cholera every year in Korea.
13. 彼は肺病で苦しんで居る。

He is suffering from consumption.

die of } cholera.  
suffer from }

(注意) 普通の病名には冠詞を附せず。併し特別の場合には定冠詞(The)を附す。

14. 今横浜に流行して居る「コレラ」は症が悪い。  
The cholera now prevalent in Yokohama is a malignant type.
15. 私共の子供は麻疹(measles)で危篤(dangerously ill)だ。  
Our child is dangerously ill with measles.
16. 「ジフテリヤ」の治療(treatment)は今では極く容易(easy)だ。  
The treatment of diphtheria is quite easy now-a-days.
17. 此薬は熱病に功能がある(good for).  
This medicine is good for fever.

Lesson XXXI (第參拾一課)

better (ヨリ好ク) pork (豚肉) beef (牛肉) wine (葡萄酒)  
beer (ビール) built (建テラレテ) ring (指環) brick (煉瓦)  
made (作ラレテ)

made of, built of (of は out of より轉化したるもの日本語「で」)

{ Which do you like better, **pork** or **beef**?  
 { I like **beef** better.

{ Which do you like better, **wine** or **beer**?  
 { I like **beer** better.

{ あなたは豚肉と牛肉とどちらが御好きですか。  
 { 僕は牛肉の方が好きです。(註) better は「…よりも好く」

{ あなたは葡萄酒と麥酒とどちらが御好きですか。  
 { 私はビールの方が好きです。

## 2

Houses are built of **wood, stone, or, brick**.

These pens are made of **steel**.

This ring is made of **gold**.

家屋は材木, 石材, 或は煉瓦で建造されます。

是等のペンは鋼鐵で作られてある

此指環は黄金で作られてある。

## Grammar (文 法)

(物質名詞) “beef” “wine” “wood” “stone” “gold”

等ノ如ク定マレル形ヲ成サズシテ數フルヲ能ハザル物質  
 ノ名ヲ物質名詞ト曰フ。

(説明) (a) 今是を普通名詞と比較して見ればよく解ります  
 普通名詞は前に學んだ様に “book” “ticket” “apple” “orange”  
 等の如に “one book” “two tickets” “three apples” “four oranges”

の如く皆計算出来るものゝ名前です。即ち數を以て計るとが出来  
 来るものゝ名が普通名詞です。

(b) けれども物質名詞は決して “one beef” “two wine” 等  
 の如く決して數で計算するとは出来なくて只だ計るには量  
 を以てするので。 次の例を比較せよ。

{ This is an **apple**. 是は林檎です。  
 { This is **beef**. 是は牛肉です。

{ Which do you like better, **apples** or **pears**?  
 { Which do you like better, **wine** or **beer**?

故に次の物質名詞に關する規則の當然であることが直ぐ判りま  
 せう。

(規則) (1) 物質名詞には複數無し。

(2) 物質名詞には “a” 或は “an” の冠詞を附せず。

(註) 物質名詞は數で計るとの出来ないものですから (量を  
 以て計る) から固より複數になる理由がありません。  
 又「一ツ」の義とする “a” 或は “an” が數なきものに  
 附く筈がありません。

(注意) 此規則の例外は後に練習中に説明します。

## Exercise.

1. 日本人は米 (rice) を常食とします (live on).  
 The Japanese live on rice.
2. 茶と (tea) 絹 (silk) は日本の重大な生産物です。

Tea and silk are important productions of Japan.

3. 煙草を日本に輸入したのは葡萄牙人です。

Tobacco is introduced into Japan by the Portuguese.

4. 綿 (Cotton) は日本の普通人民の衣服 (clothing) にする重要な材料 (principal material) です。

Cotton is the principal material for clothing of the common people in Japan.

5. {私は梨子が大好きです。 I am very fond of pears.  
私は豚肉が大好きです。 I am very fond of pork.

6. {此本は紙で作られてある。 This book is made of paper.  
此家は石で作られてある。 This house is made of stone.

(註) to be (is, are) made of ..... デ作ラレル

此の例に依て此形の用法に注意すべし

次に物質名詞の類を擧ぐべし

(a) 普通材料の名

metal (金属) wood (木材) timber (木材) mahogany (桃花心木) bone (骨) ivory (象牙) horn (角) hair (毛) wool (羊毛) earth (土) 等

(b) 金属或は原素の名

gold (黄金) silver (銀) iron (鐵) copper (銅) platinum (白金) steel (鋼鐵) brass (真鍮) aluminium (アルミニウム) tin (錫) lead (鉛) nickel (ニッケル)

quicksilver (水銀) diamond (金刚石) coral (珊瑚)

crystal (水晶) pearl (眞珠)

oxygen (酸素) hydrogen (水素) nitrogen (窒素) 等

(c) 液体或は瓦斯等の名

water (水) wine, beer, tea, coffee, oil (油)

air (空氣) smoke (烟) gas (瓦斯) vermouth (ヴェルモット)

champagne (三鞭酒) soy (醬油) vinegar (酢)

peppermint (薄荷) milk (牛乳) cider (林檎水)

whiskey (ウイスキー) brandy (ブランデー) lemonade (レモネード)

(d) 食料品の名

Corn (玉蜀黍) rice (米) wheat (麥) barley (大麥)

meat (肉) fish (魚) sugar (砂糖) salt (鹽)

(例外) 次のは複数の形があります

(1) Oats (カラスムギ) potatoes (ジャガイモ) beans (菽) peas (エンドウ豆) biscuits (ビスケット)

(2) 果物の名

apples, peaches, pears, tomatoes (トマト), melons (瓜) grapes (葡萄) plums (梅) 等

7. 肉は魚よりも滋養に (more nourishing) なる。

Meat is more nourishing than fish.

8. 金銀を貴金属 (precious metals) と曰ふ。

Gold and silver are called precious metals.

9. 純粹な (pure) aluminium な銀の様に白い。

Pure aluminium is as white as silver.

註 as white as snow 雪ノ様 = 白イ

as black as coal 石炭ノ様 = 黒イ

not so white as snow. 雪ホド白ク無イ。

10. 金は銀程堅くない。

Gold is not so hard as silver.

11. 真鍮は金ほど重くない。

Brass is not so heavy as gold.

12. 此指環は金と金剛石と真鍮とで作つてある。

This ring is made of gold, diamond and pearl.

13. 此家は何で出来て居ますか。

What is this house built of?

14. 木と煉瓦で出来て居ます。

It is built of wood and brick.

15. 此橋は何で作つてありますか。鐵で造つてあります。

What is this bridge built of? It is built of iron.

### Lesson XXXII (第三拾貳課)

hot water (湯) anything else (外に何か)  $\left\{ \begin{array}{l} \text{Have you any...?} \\ \text{I have some.....} \\ \text{I have no.....} \end{array} \right.$

## 1

What do you want? 何が御入用ですか。

I want some hot water. わ湯が慾しい。

Do you want anything else? 何か外に御入用なものはありますか。

Yes, I want some tea. そう、お茶を下さい。

## 2

Have you any sugar? 砂糖がおありですか。

No, I have none (=no sugar) 少しもありません。

Do you want any sugar? 砂糖が御入用ですか。

Yes, I want some (sugar).

(注意) “some” の用法に就ては既に page 89 (No. 3) に於て説明したり故に参照せられよ。

### Grammar (文法)

1. 物質名詞ノ其量ニ限リアル場合ニハ“some”ヲ用フ。

(注意) 其意味ハ「幾ラ少少量」ナリ。

(説明) “I have some books.” “I want some chairs.” ノ如ク普通名詞ヲ用フル場合ニモ其數ヲ限ル時ニ“some”ヲ

用イルヲハ既ニ説明シタル如シ。勿論其意味ハ「幾ラカ少数」ナリ夫レト同シ理ニテ物質名詞ノ量ヲ制限スル時ニ“some”ヲ用フルナリ。次ノ例ヲ比較セヨ

Bring me **some** cups. 普通名詞

Bring me **some** water. 物質名詞

2. "some" は疑問文ニ於テハ "any" トナリ。

否定文ニ於テハ no. (=not+any) 又ハ none

(=not+any+one) トナル

Have you **any** sugar?

例へば Yes, I have **some** (sugar).

No, I have **no** sugar. =not any (sugar)  
**none** (not+any+one)

(注意) 英語を日本語に譯する時は "some" を特別「或る」  
又は「幾らか」と譯す必要なきも。日本語を英語に譯す  
時は。疑問文ならば "any" 肯定文ならば "some" を  
必ず附すべし。

次の文を比較せよ。

{ I like **apples** 私は林檎が好きだ (一般の意味)

{ Give me **some** apples 私に林檎を下さい (或る一部の意味)

{ I like **wine**. 私は葡萄酒が好きだ (一般)

{ I want **some** wine 私は葡萄酒が欲しい。 (一部)

### Exercise.

1. 茶を御持ちですか。

Have you any tea?

2. 茶はあるが急須も茶碗もない。

Yes, I have some tea, but no tea-pot or tea cups.

3. **アナタ** 錢を御持ちですか。

Have you any money with you?

4. あります。 Yes, I have some.

5. どうか。十圓貸して下さい。

Please lend me ten **yen**.

6. **そんなに** 澤山 (so much) 持ちません。

I have **not so much** money.

7. Give me **some** milk 牛乳を下さい。

8. 汝は **パン** と **飯** と **どちら** が御好きですか。

Which do you like better, bread or rice.

9. 勿論。飯の方が好きです。

Of course, I like rice better.

10. 行つて肉と葡萄酒とを買つて来て下さい。

Go and get **some** meat and wine.

### Lesson XXXIII (第三拾參課)

piece (切片) threw (投げた) number (數) sum (額)  
great deal of (タクサン) quantity (量) furniture (家具)

1

{ Give me **some** paper.

{ Give me a **piece** of paper.

{私に紙を下さい。

{私に紙を一枚下さい。

(註) a piece of ..... 一枚, 一片, 一本等ノ意。

## 2

{Give me a cup of tea.

{I want a glass of wine.

{私にお茶を一盃下さい。

{私に葡萄酒を一盃下さい。

## 3

{I have many friends.

{You have much money.

私は多く(多數)の友人がある。

汝は澤山(多量)金銭がある。

## 4

{How many tickets do you need?

{I need two, a first class and a second class.

How much money do you need?

I need two or three yen.

{あなたは切符が幾枚(數)御入用ですか。

{二枚入ります。一枚は一等, 一枚は二等です。

{あなたは金銭が幾何程(量)御入用ですか。

{二三圓入用です。

## Grammar (文法)

1. 量ヲ表ハス語ヲ前ニ置ク時ハ物質名詞ニモ冠詞(a)ヲ附スル事ヲ得。

(説明) 物質名詞は前にも曰ふた様に "a wine", "a tea" と云ふ如く冠詞を直接に附けるとは出来ず, 又 "two wine" "three tea" と云ふ様に數詞を直接に附けるとは出来ませんが量を表す語を前に置けば "a" が付きます。例へば

A cup of tea.....茶一盃。

A piece of paper...紙一枚。

2. 其附シタル數詞ハ複數ノ形ニナスヲ得。

(例) Two cups of tea.

Three pieces of paper.

3. 或ル物質名詞ハ場合ニ依リ普通名詞トモナル。

(説明) 同じ名詞でも用ひる場合によつて或は物質名詞となり, 或は普通名詞となります。例へば "stone"

(石)と云ふ名詞に就て考へて見るに。

This house is built of stone (物質名詞)。

即ち是は "stone" を建築の材料として用いてあるから物質名詞です。併し次の様か

He threw a stone at me. (普通名詞)

は「彼は私に向て石を投げた」にて決して材料として論じて居

るにあらざれば普通名詞なり。次の例を見よ。

The handle is made of bone. (物質名詞)

其柄は骨で出来て居る。

He has broken a bone. (普通名詞)

彼は骨を一本折つた。

This coat is made of good cloth. (物質名詞)

此着は好い布で作つてある。

This is a good cloth for summer wear. (普通名詞)

是は夏着に好い布だ。

(注意) 未だ外に澤山ありますから練習の時に説明致します。

4. "many" は(多量の意味) 複數普通名詞に附す。

I have many books.

"much" は(多量の意味) 物質名詞に附す。

He has much money.

### Exercise

1. ぞぞ白粉を一本下さい。

Please give me a piece of chalk.

2. パンを一斤下さい。

Please give me a piece of bread.

3. 彼の人の家は石で造てある。

His house is built of stone. (物質)

4. 子供と云ふものは石を投げるものでない。

Boys should not throw stones. (普通)

(注意) 普通名詞となれば意味の變るものあり。

5. { This book is made of paper. (物質) …此本は紙で造てある。

{ The papers are missing. (普通) …書類が失くなつた。

6. { Give me a glass of water. (物質) …水を一盃下さい。

{ The ships are now in Japanese waters.

(普通) …其船が日本近海に居る。

7. { Give me a glass of wine. (物質) …葡萄酒一盃下さい。

{ Bring me some glasses. (普通) …コップを(五六)持て

来て呉れ。

(注意) waters 此複數の形は河、海、湖等の意味となる。

a glass of (wine) は量る名詞(Noun of Measure)です。

例へば a piece of paper. (紙一枚)

a cup of tea. (茶一杯)

a sum of money. (金額)

a bag of gold. (一袋の金)

a package of cards. (カード一包)等です

未だ此例は澤山ありますから後に説明します。

8. { Fire burns wood. (物質) 火が薪を燃やす。

{ There was a fire last night. (普通) 昨夜火事があつた。

(註) a fire は「火事」で「火」ではありません。勿論複  
数の形になります 例へば「東京には火事が多  
い」と云ふは

Fires are frequent in Tokyo.

併し場合に依ては抽象名詞となるもあり「此町が焼  
けた」と云ふ場合の This town was destroyed by fire

9. 此井の水は飲めます (is good to drink).

The water of this well is good to drink.

(注意) 此の例の如く「此井ノ水」と云ふ様に制限の意味の  
際は物質名詞にも冠詞が着きます。次の三例を見  
よ。

10. { This is very good wine  
This is a good wine for invalids } 冠詞を注意せよ。

{ 是は大層好い葡萄酒です。

{ 是は病人に好い葡萄酒です。(制限した意)

11. { This coat is made of good cloth.  
This is a good cloth for winter wear.

{ 此服は良い布で造へた。

{ 是は冬衣に良い布だ。

12. { Ships are built of hard wood.  
Teak is a hard wood used for building ships.\*

船は堅い木で造る。

麻栗樹は造船に用ふる。

13. 餘り光が強よ過ぎると眼を害する。  
Too much light hurts the eyes. (物質)

14. 私には遠方にアカリが見える。  
I see a light in the distance.

15. 砂糖を一斤下さい。

Give me a pound of sugar.

16. 茶を十銭だけ下さい。

Give me ten sen's worth of sugar.

(注意) 斯る例は次の表にて見るべし。

a pound of sugar.	砂糖一斤
a pint of wine.	葡萄酒一ポイント
an inch of wire.	針金一吋
an acre of ground.	土地一エーカー
a bushel of corn.	玉蜀黍一ブッシェル
two tons of coal.	石炭二トン
three gallons of beer.	大麥三ガロン
a cup of tea.	茶一パイ
a glass of wine.	葡萄酒一杯
a pail of water.	水一牛桶
a bucket of water.	水一バケツ
a pitcher of milk.	牛乳一瓶
a box of cake.	菓子一折
a barrel of beer.	ビール一樽
a bottle of wine.	葡萄酒一本
a bag of money.	錢一袋
a chest of drawers.	箆筒一ツ



尙ほ此外に次の如きものあり序に記憶すべし。

a handful of rice.	米一個或は一スクイ
a double-handful of rice.	両手での一個一スクイ
a mouthful of food.	食物をローバイ
a spoonful of milk.	牛乳一サジ
an armful of wood.	薪抱
a shipload of cargo.	貨物船一バイ
a cartload of furniture.	家具車一臺
a coachload of passenger.	乗客車一バイ

まだ前に述べし "some" "much" "many" 等を此形に直して用ふるとあり。次を見よ

a number of men	=some men.
a great sum of money	=very much money.
a great deal of trouble	=very much trouble.
a quantity of water	=some water.
great numbers of men	=very many men.
large quantities of water	=very much water.

### Grammar (文 法)

- 七曜ノ名ハ大字ニテ書キ冠詞ヲ要セズ。
- 十二箇月ノ名及ビ祭日ノ名、亦全様大字ニテ書キ冠詞ヲ要セズ。

(注意) 普通單語第五頁(第二號ニアリ)参照

### Lesson XXXIV (第三拾四課)

plant (植木)	cutting (挿木)	grown (成長, 根ガツク)
for a moment (暫時)	able (能フ)	unable (不能)
capable (堪ヘル, 出来ル)	possible (能フベキ, 爲シ得ベキ)	
practicable (實行シ得ベキ)	fact (事實)	interpret (通辨)
event (出来事)		

#### 1

can

A dog can run. 犬は走ることが出来ます。  
A bird can fly. 鳥は飛ぶことが出来ます。

can not

Man can not fly. 人間は飛ぶことが出来ません。  
I can not run fast. 僕は早く走ることが出来ません。

can't?

Can't you speak English? 君は英語を話すことが出来ませんか。

Yes, I can. エー。話すことが出来ます。

Can't you teach English? 君は英語を教えることが出来ませんか。

No, I can't. イーエ。出来ません。

#### 2

may

I can go. 私は行くことが出来る。

You may go. 汝は行て宜しい。

must

He must go. 彼は行かねばならぬ。

(註) “run” “fly” “speak” “teach” “go” “have” 等の様な「動作」を顯す語及び “is” “am” “are” (皆 “to be” の主格に依て變體したもの) 等の様な「状態」を顯す語を助詞 と云ふとは既に學べり (page 67 の文法参照) をここで今度は助動詞を説明します。

## Grammar (文・法)

(1) 助動詞 (Auxiliary Verb) (1) 助詞ノ前ニ置キテ助詞ノ意義ヲ完全ナラシムル語ナリ。

(註) 故に “can” “may” “must” (“shall” “will” “should” “would” “ought” “need” “dare”) 等は皆助動詞として用ゐられます。

注意すべき事は日本語の動詞とは全く順序が違つて居るとです。日本語では助詞の後に置き、英語では前に置きます。

私は英語を話せ	{ ます ません }	I { can can't }	speaks English.
---------	---------------	--------------------	-----------------

今 “speak” と云ふ助詞ばかりでは「語る」のか「語るぬ」のか「語るとが出来」のか「語るとが出来ない」のか少しも意味が判りませんそれ故にふしても will, can, can't 等の助動詞の力を借りなくては意味が完全になりません。

(2) can, may, must の主格ニ依リテ其形ヲ變ズルヲナシ。

(註) 前に陳べた様に “be” “have” 等は主格に依て形が變つた例へは “be” は I am, You are, He is となり have は I have, You have, He has, They have となるけれど can, may, must は主格に依て少しも變りません。

## Exercise.

【説明】 Can の意義 (meaning of can)

(1) 第一の意義 は邦語の『出来る』『能ふ』『叶ふ』『得る』の意です。故に

Can	{	=able	Can't	{	=unable
		=capable			=incapable
		=possible			=impossible
		=practicable			=impracticable

等の同意の語に換へて用ゐられます。次に此の Can の第一の意義の例を挙げます。

1. 驛長はかなり上手 (pretty well) に英語を話すと出来ます。  
The station-master can speak English pretty well.
2. 此室に千人入れると出来ます (can hold)。  
This room can hold (=is capable of holding) a thousand people.
3. 私の教師は佛語を話すと出来ません。  
My teacher can not speak French.

4. 君は今晚僕の家へ来るとが出来ますか。  
Can you come to my house this evening?
5. 諸君の中 (of) 誰か此西洋人の通辨 (interpret) が出来ますか。  
Can any one of you interpret for this foreigner?
6. 其男兒は犬のように早くは (as fast as a dog) 走れますん。  
The boy can not run as fast as a dog.
7. 私は英語を読む事は出来ますが話す事が少しも出来ません。  
I can read English, but can't speak it at all.
8. 此植木 (plant) は挿木 (cutting) でつきますか。  
Can this plant be grown from cutting?
9. エー、つきます。けれど種からの方が好いです。  
Yes, it can be grown, but from seed better.
10. 四五年勉強して學べば誰にでも英語が覺わられます。  
Any one can learn English if he studies diligently for a few years.
- (2) 第二の意義 「宜しい」「ても宜い」「差支ない」にて『許可』の場合に用ふ。元來「許可」の場合には“may”を用ふのです You may go home は「家へ歸つて宜しい」です“Can”が全く此“may”と同じ意味で用ひられます。
11. 来たいならば来ても宜しい。

You can (=may) come if you wish.

11. 一寸御話し申す事が出来ますか (申上ても宜敷御座いますか)。  
Can } I speak to you for a moment?  
May }
13. 明日學校を拜見に私の友人を連れて行つても宜敷御座いますか。  
Can } I bring a friend of mine to look at your school  
May } to-morrow?

(註) “May”を用ふる方丁寧なれば斯る場合には“May”を用ふべし。

(3) 第三の意義。

The report can not be true  
其 が眞實である筈がない

此“can not”は能はぬ、出来ぬ等の第一の意味とは全く違つて、事實 (fact) 或は出来事 (event)の『ある筈がない』(impossibility)と云ふ事を顯す。

14. 彼の人が未だ到着する筈がない。  
{ He can not have arrived yet.  
{ It is impossible that he has arrived yet.
15. 彼の生徒が試験に及第する筈がない。  
He can not have passed in the examination.
16. 僕が茲に居るを彼の人が知つて居る筈がない。  
He can not know that I am here.

17. 彼の人がそんな事を爲たか知ら(まさか爲まい).

Can he have done such a thing?

18. イーヤ. そんな事する筈がない.

No, he can not have done such a thing.

19. 僕がそんな事を云ふ筈が無い.

I can not have said such a thing.

(注意) can の次の意味に注意すべし.

20. <sup>ホント</sup> 真正か知らん Can this be true?  
 彼の人<sup>ホント</sup>は知つて居るか知ら Can he know it?  
 誰が爲たか知らん Who can have done this?  
 彼は何處へ行つたか知らん Where can he have gone?

### Lesson XXXV (第參拾五課)

<sup>レポート</sup> report (報告, 評判) <sup>ハッペン</sup> happen (超る) <sup>プレパア</sup> prepare (準備する)  
<sup>サクセス</sup> success (成功) <sup>ビギニング</sup> beginning (如) <sup>アライアンス</sup> alliance (同盟) <sup>ポピュラー</sup> popular  
 (人望ある) <sup>サーティン</sup> certainly (確に) <sup>ブラント</sup> blunt (無遠慮) <sup>オフエン</sup> offend (氣  
 に觸る) <sup>レコレクション</sup> recollection (回想, 思出) <sup>ペルセヴァランス</sup> perseverance (忍耐)  
<sup>マテリアル</sup> materially (實質的に)

## 1

May I go home now? 今. 家へ行つて宜ふ御座りますか.  
 Yes, you may go. エー. 宜い.  
 No, you must not go. イーエ. 行いてはいけない.

## 2

He may be called a great man.

彼を偉人と云ふても差支ない。

She may be said to be the real master of the house.

彼女を其家の眞實の主人と云ふても差支ない。

## 3

The report may be true.

其評判は眞實かも知れん

The rumor may not be true.

其風説は眞實でないかも知れん

## 4

Whoever may have said so, I do not credit it.

誰れがさう云はうトモ僕はそれを信じない。

Whatever may happen, I am prepared for it.

何事が起らふとも僕は用意して居る。

## 5

I make haste that I may be in time.

間に合はせる爲めに急いだ。

Man does not live that he may eat

人間は食ふ爲めに生存しては居ない。

## 6

I hope you may succeed.

君の御成功あらん事を希望す。

May you succeed!

君の御成功を祈る。